

ビジネスフォンαクライアント

※本書の操作説明および画面例には、GALAXY SⅢ SC-06D を使用しています。
スマートフォンの機種によっては操作・画面が異なる場合がございます。

目次

1. 特長	4
1.1 ビジネスフォンαクライアントとは	4
1.2 主な機能.....	4
1.2.1 電話機モード.....	4
1.2.2 連携モード.....	4
1.3 システム要件.....	4
1.4 本アプリケーションの動作について	5
2. インストール・アンインストール	7
2.1 提供元不明アプリケーションインストール許可.....	7
2.2 当社ホームページからのインストール	9
2.3 アンインストール	10
2.4 バージョンアップ	12
3. 各部の名称と機能	13
3.1 待機中画面.....	13
3.2 ダイヤル入力画面	14
3.3 ワンタッチ操作画面	15
3.4 発着信履歴画面（着信履歴）.....	16
3.5 発着信履歴画面（発信履歴）.....	17
3.6 発信中画面.....	18
3.7 着信画面.....	19
3.8 通話中画面.....	20
3.9 転送画面.....	21
3.10 待機中メニュー画面	22
3.11 発信中メニュー画面	23
3.12 通話中メニュー画面	24
3.13 連携モード待機中画面.....	25
3.14 連携モード待機中メニュー画面	26
3.15 連携モードお気に入り登録／削除画面	27
3.16 連携モード削除／編集画面.....	28
4. 設定	29
4.1 無線／ネットワークを設定する	29
4.2 主装置関連の設定をする.....	30
4.2.1 主装置設定を設定する.....	32
4.2.2 音声パケットの優先度を設定する	36
4.2.3 音声制御設定を設定する.....	37
4.2.4 WEBアドレス帳サーバ設定を設定する	41
4.3 KT連携を設定する.....	46
4.3.1 端末番号を設定する.....	47
4.3.2 プレフィックス選択を設定する	47
4.4 ビジネスフォンαクライアントをカスタマイズする	48
4.4.1 文字色を変更する	49
4.4.2 壁紙を変更する	50
4.4.3 回線キーの名称、配置を変更する	51
4.4.4 着信メロディを変更する.....	53
4.4.5 ワンタッチダイヤルを登録する	55
4.4.6 WiFi圏外警告レベルのWi-Fi強度を調整する.....	57
4.4.7 発着信履歴のセキュリティを設定する.....	58
4.4.8 設定をインポート／エクスポートする.....	59

4.4.9	ビジネスフォンαクライアントのバージョンを確認する.....	61
4.5	設定一覧.....	62
5.	操作方法.....	67
5.1	αNXⅡシステム (Type-S/M) / αNXⅡシステム (Type-L/P) の共通操作.....	67
5.1.1	発信する.....	67
5.1.2	着信に応答する.....	72
5.1.3	通話を保留する.....	74
5.1.4	通話を転送する.....	78
5.1.5	会議通話をする.....	79
5.1.6	受話音量を調整する.....	83
5.2	αNXⅡシステム (Type-L/P) 電話機モード.....	84
5.2.1	機能メニュー.....	84
5.2.2	システム設定メニュー.....	89
5.2.3	連携モードに切り替える.....	109
5.3	αNXⅡシステム (Type-L/P) 連携モード.....	110
5.3.1	発信する.....	110
5.3.2	連携先の端末を変更する.....	116
5.3.3	クイックボタンをカスタマイズする.....	117
5.3.4	電話機モードに切り替える.....	124
5.4	αNXⅡシステム (Type-S/M) 電話機モード.....	125
5.4.1	機能メニュー.....	125
5.4.2	システム設定メニュー.....	126

1. 特長

1.1 ビジネスフォンαクライアントとは

ビジネスフォンαクライアントは、スマートフォン（Android端末）上で動作するアプリケーションです。αNXIIシステム主装置（Type-L/P、Type-S/M）の内線端末として収容することで、以下のことができます。

電話機モード：発信、着信、通話などを行うことができます。

連携モード：他のKTの発信操作をAndroid端末上から行うことができます。

1.2 主な機能

ビジネスフォンαクライアントの主な機能

1.2.1 電話機モード

- 外線／内線発信
- 外線／内線着信
- 外線／内線通話
- 保留
- 転送
- 会議通話

1.2.2 連携モード

- 外線／内線発信

1.3 システム要件

ビジネスフォンαクライアントは、次のシステム要件を満たすスマートフォンで利用できます。

システム要件	
OS	Android4.0.4以上
空きメモリ容量	約15MB以上

対応機種





対応機種は、当社ホームページで確認してください。

1.4 本アプリケーションの動作について

- 主装置の動作については、主装置のマニュアルを参照してください。
 - ビジネスフォンαクライアントは、NX-無線アクセスポイント-「1」(NX-WL-AP-<1>) の配下でのみ動作します。
 - ビジネスフォンαクライアントは、バックグラウンドで動作しています。終了するときは、待機中画面、発信中画面、もしくは通話中画面のメニューから「アプリ終了」を選択してください。
 - アプリケーションの設定を変更した場合、アプリケーションを終了した後、再起動が必要です。
 - Bluetoothヘッドセットはご使用になれません。
 - ビジネスフォンαクライアントでは、下記の電話番号には電話をかけられません。
110、118、119、186110、186118、186119、184110、184118、184119
 - ビジネスフォンαクライアントと他の通話アプリケーションで同時に通話しないでください。
 - ビジネスフォンαクライアントは通話を切った直後に着信があると、着信音が大きくなります。
 - ビジネスフォンαクライアントは、発信中、通話中に近接センサが反応すると画面が隠れます。
 - スマートフォンの「スリープ中のWiFi接続」を「常にON」に設定してください。「常にON」以外に設定すると、Wi-Fiが切断されて着信が受けられなくなることがあります。
 - ビジネスフォンαクライアントでの通話は、データ通信（ベストエフォート）機能を使用するため、以下のような状況では通話品質に影響がでたり、通話できない場合があります。
 - ・ スマートフォンが高負荷のとき。
 - ・ NX-無線アクセスポイント-「1」(NX-WL-AP-<1>) を接続するHUBに大量のデータ通信が発生したとき。
- 具体的には、以下のような事象が出る場合があります。
- ・ 遅延、音切れ。
 - ・ 着信時に圏外転送となる。
 - ・ 操作が有効にならない。
- ビジネスフォンαクライアントの端末個別設定の変更は推奨しません。変更すると通話ができない、通話が乱れるなどの事象が発生する場合があります。
 - ビジネスフォンαクライアントのログイン時に使用するアカウント情報（端末番号、ユーザID、WEBアドレス帳サーバアカウント、WEBアドレス帳サーバパスワード）は、複数のスマートフォンで同じものを使用しないでください。
 - 購入されたライセンス以上のスマートフォンにアプリケーションをインストールしないでください。ライセンス以上の台数にインストールした場合、動作保証いたしません。機種変更する場合は、アンインストール／インストールしてください。
 - ビジネスフォンαクライアントは、Wi-Fi間のハンドオーバーには対応していません。
 - ビジネスフォンαクライアントは、サポート外の機種、OSバージョンへのインストールは動作保証しません。
 - ビジネスフォンαクライアントは、スマートフォンの画面解像度、フォントサイズによって、画面の表示が切れたり、マニュアルどおりに表示されない場合があります。
 - 連携モードでの着信履歴クイックボタンには、履歴情報がすぐに反映されないことがあります。連携先のKTからの発信などの操作や、画面ロックからの復帰などの操作により履歴情報が反映されます。
 - ビジネスフォンαクライアントで通話中に、両者が同時に話すと、通話が途切れることがあります。
 - ビジネスフォンαクライアントと他の通話アプリで同時に通話した場合、通話品質に影響がでたり、通話できない場合があります。
 - ビジネスフォンαクライアントで通話中に3G着信したとき、その着信に应答するとビジネスフォンαクライアントの通話は切断されます。
 - 3G通話中に、ビジネスフォンαクライアントに着信したとき、着信の設定によらずバイブレーションにより着信をお知らせします。

- ビジネスフォンαクライアントを利用するスマートフォンの設定、およびPlayストアアプリケーションの設定を表のようにしてください。その他の設定では、通話が途切れることがあります。

表 スマートフォンの設定、およびPlayストアアプリケーションの設定

設定名称	設定値			
設定 	位置情報サービス	無線ネットワークを使用	チェックを外す	
		位置情報とGoogle検索		チェックを外す
	アカウントと同期		スイッチを“○” (↓の状態) にスライド 	
	バックアップとリセット	データのバックアップ		チェックを外す
	端末情報	ソフトウェア更新	Wi-Fiのみ	チェックを外す
	日付と時刻	自動日時設定		チェックを外す
		自動タイムゾーン		チェックを外す
Playストア  ※ 「アカウントと同期」にGoogleアカウントを設定していない場合は設定不要	設定  ※ Playストアを起動し、メニューボタンをタッチして「設定」を選択	通知		チェックを外す
		アプリの自動更新		チェックを外す
		Wi-Fi接続時にのみアップデート		チェックを外す
		ウィジェットの自動追加		チェックを外す

- コンソールを接続した内線端末とは、連携できません。
- ビジネスフォンαクライアントが主装置とつながらないときは、アプリ終了メニューによりアプリケーションを終了してから、再起動してください。


2. インストール・アンインストール

2.1 提供元不明アプリケーションインストール許可

ビジネスフォンαクライアントをインストールするには、スマートフォンの設定で提供元不明アプリケーションのインストールを許可してください。



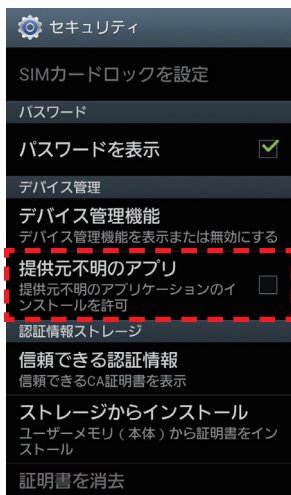
手順①

- スマートフォンのメニューボタンを押下します。
-  をタップします。



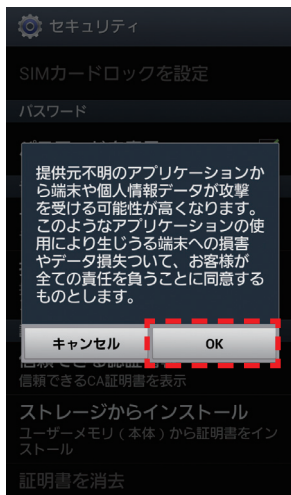
手順②

- 「セキュリティ」をタップします。



手順③

- 「提供元不明のアプリ」をタップして、チェックを入れます。



※ 注意ダイアログが表示された場合は「OK」をタップします。

2.2 当社ホームページからのインストール

当社ホームページからのビジネスフォンαクライアントのインストール方法を説明します。

手順①

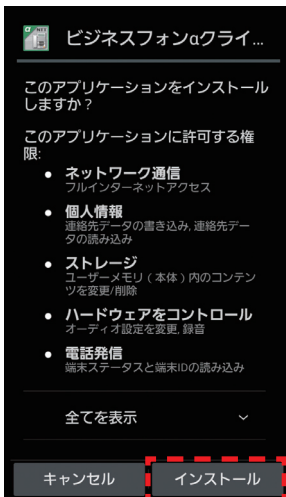
- スマートフォンのブラウザからビジネスフォンαクライアントのダウンロードサイトにアクセスし、インストールファイルをダウンロードします。

手順②

- ダウンロード完了後、ビジネスフォンαクライアントインストールファイルをタップします。

手順③

- 「インストール」をタップし、インストールを開始します。



手順④

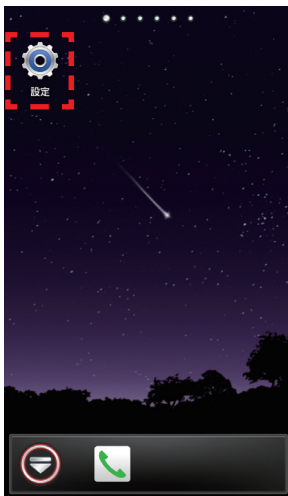
- 「完了」をタップします。

インストール後にバージョンを確認するには以下の手順で行ってください。
ビジネスフォンαクライアント起動⇒待機中画面でメニューボタン押下⇒「端末設定」をタップ⇒「バージョン」をタップします。




2.3 アンインストール

ビジネスフォンαクライアントのアンインストール方法を説明します。



手順①

- スマートフォンのメニューボタンを押下します。
-  をタップします。



手順②

- 「アプリケーション管理」をタップします。



手順③

- ダウンロードの「ビジネスフォンαクライアント」をタップします。



手順④

- 「削除」をタップします。



手順⑤

- アンインストール完了画面で「OK」をタップします。

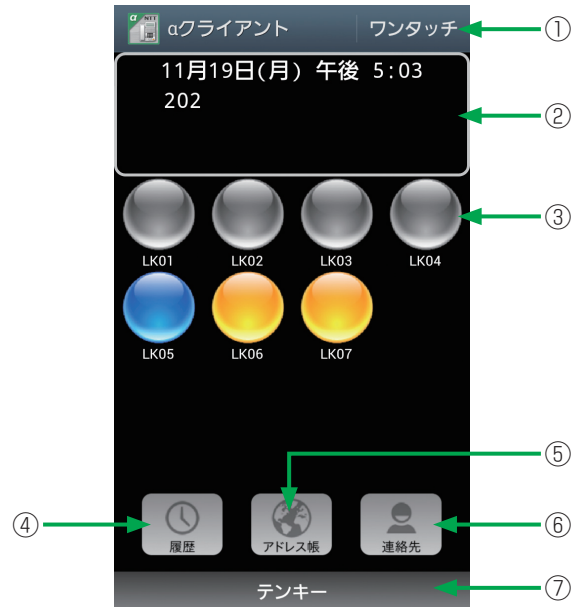
2.4 バージョンアップ




バージョンアップは前のバージョンをアンインストール後、新しいバージョンをインストールしてください。アンインストールせずにバージョンアップした場合、正常に動作しないことがあります。インストール、アンインストール手順は、「2.2 当社ホームページからのインストール」、「2.3 アンインストール」を参照してください。

3. 各部の名称と機能

3.1 待機中画面

待機中画面を説明します。





- ① ワンタッチ ワンタッチダイヤル機能を利用するときに使用します。
- ② LCD表示エリア 現在の時刻、自内線番号が表示されます。
- ③ 回線キー 主装置で設定した回線キーが表示されます。
各回線キーは、以下の色で表示します。
外線／拡張内線／索線／拡張内線グループ：グレー
パーク：黄色
サービスキー：青
左右にフリックすると、他の回線キーの画面に切り替わります。
- ④ 発着信履歴ボタン 発着信履歴画面を表示させるときに使用します。

- ⑤ WEBアドレス帳ボタン WEBアドレス帳を利用するときに使用します。

- ⑥ 標準電話帳ボタン Android標準の電話帳を利用するときに使用します。

- ⑦ テンキー 上方向にフリックすることで、テンキーが表示されます。

3.2 ダイヤル入力画面

ダイヤル入力画面を説明します。



- ① プレフィックス 184/186等の番号を付けて発信を行う場合に使用します。
- ② ダイヤル表示エリア 入力したダイヤルを表示します。
- ③ 削除ボタン  ダイヤル表示エリアに入力されたダイヤルを削除する場合に使用します。タップで1桁削除、ロングタッチですべて削除します。
- ④ 発信ボタン  ダイヤル表示エリアに入力された電話番号に発信するときに使用します。
- ⑤ 回線キー 回線を指定して発信する場合に使用します。
- ⑥ テンキー 電話番号を入力するときに使用します。

3.3 ワンタッチ操作画面

ワンタッチ操作画面を説明します。

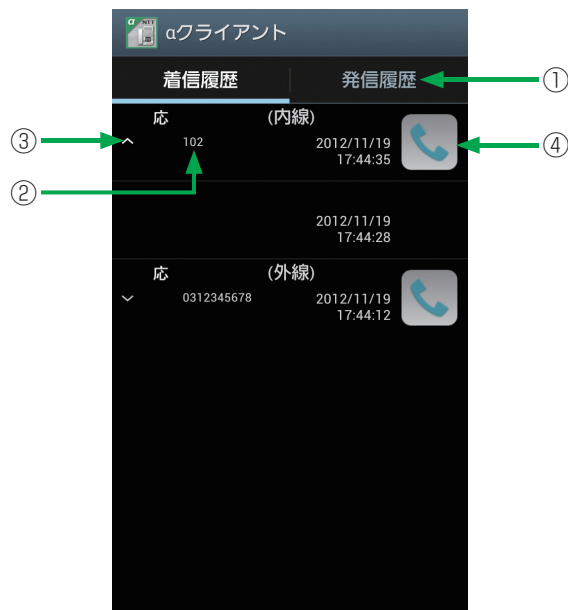


① ワンタッチ

ワンタッチダイヤルの一覧を表示します。
一覧の中から選択することができます。

3.4 発着信履歴画面（着信履歴）

着信履歴画面を説明します。



① 着信履歴／発信履歴切替タブ 着信履歴、発信履歴の表示を切り替えるときに使用します。

② 履歴表示欄


次の情報を表示します。

- 応答内容
- 相手先名称
- 内線、外線の種別
- かけてきた人の電話番号
- 着信があったときの時刻

③ 連続着信アイコン

連続して着信があったことを表します。

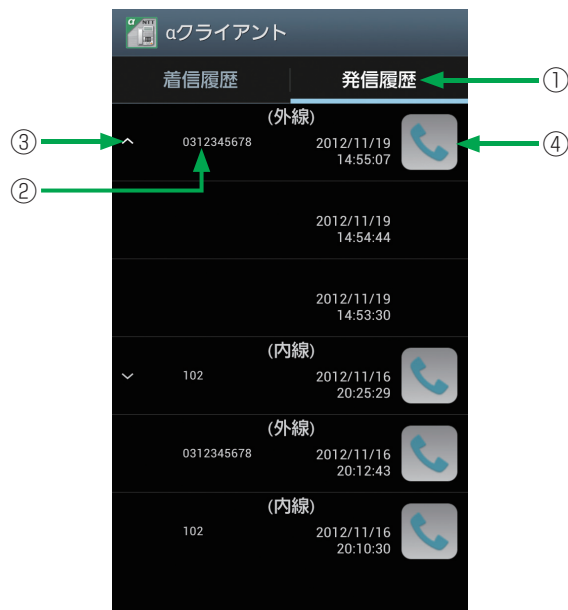
また、本アイコンをタップすると、それぞれの着信の時刻を表示します。

④ 発信ボタン 

履歴に記録された相手に発信するときに使用します。

3.5 発信履歴画面（発信履歴）

発信履歴画面を説明します。



① 着信履歴／発信履歴切替タブ 着信履歴、発信履歴の表示を切り替えるときに使用します。

② 履歴表示欄


次の情報を表示します。

- 内線、外線の種別
- 相手先名称
- 電話をかけた相手の電話番号
- 発信をしたときの時刻

③ 連続発信アイコン

連続して発信したことを表します。

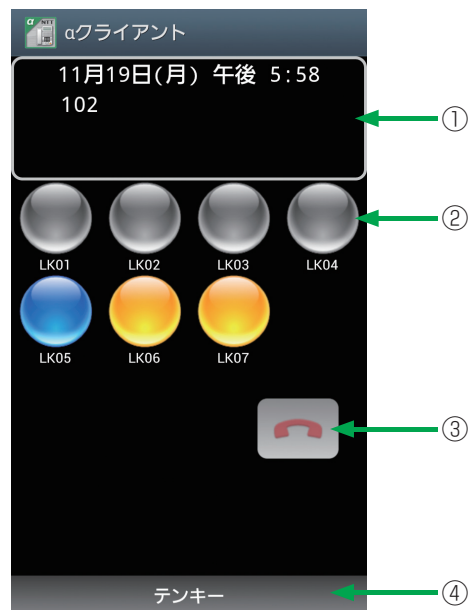
また、本アイコンをタップすると、それぞれの発信時刻を表示します。

④ 発信ボタン 

履歴に記録された相手に発信するときに使用します。

3.6 発信中画面

発信中画面を説明します。



① LCD表示エリア

発信先の電話番号と回線の種別をLCDに表示します。

② 回線キー

主装置で設定した回線キーが表示されます。

各回線キーは、以下の色で表示します。

発信に使用している回線キー：緑

外線／拡張内線／索線／拡張内線グループ：グレー

パーク：黄色

サービスキー：青

左右にフリックすると、他の回線キーの画面に切り替わります。

③ 切断ボタン 

発信を中断するときに使用します。

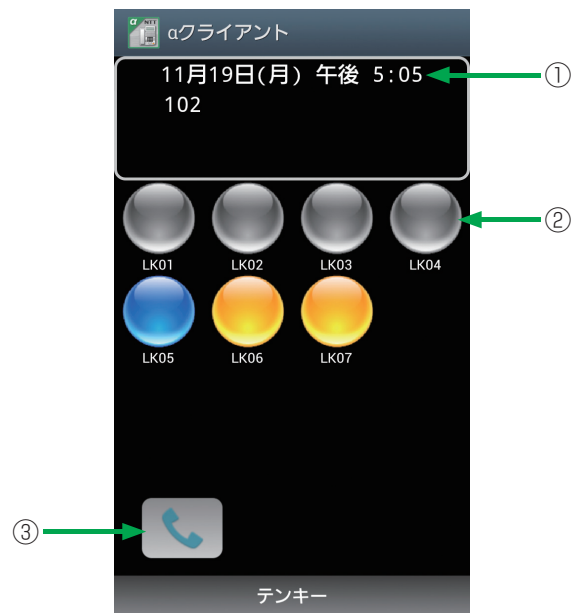
④ テンキー

上方向にフリックすることで、テンキーが表示されます。

発信中にダイヤルを入力するときに使用します。

3.7 着信画面

着信画面を説明します。



① LCD表示エリア

現在の時刻、自内線番号を表示します。

② 回線キー

主装置で設定した回線キーが表示されます。

各回線キーは、以下の色で表示します。

着信している回線キー：赤点滅、もしくは緑点滅


外線／拡張内線／索線／拡張内線グループ：グレー

パーク：黄色

サービスキー：青

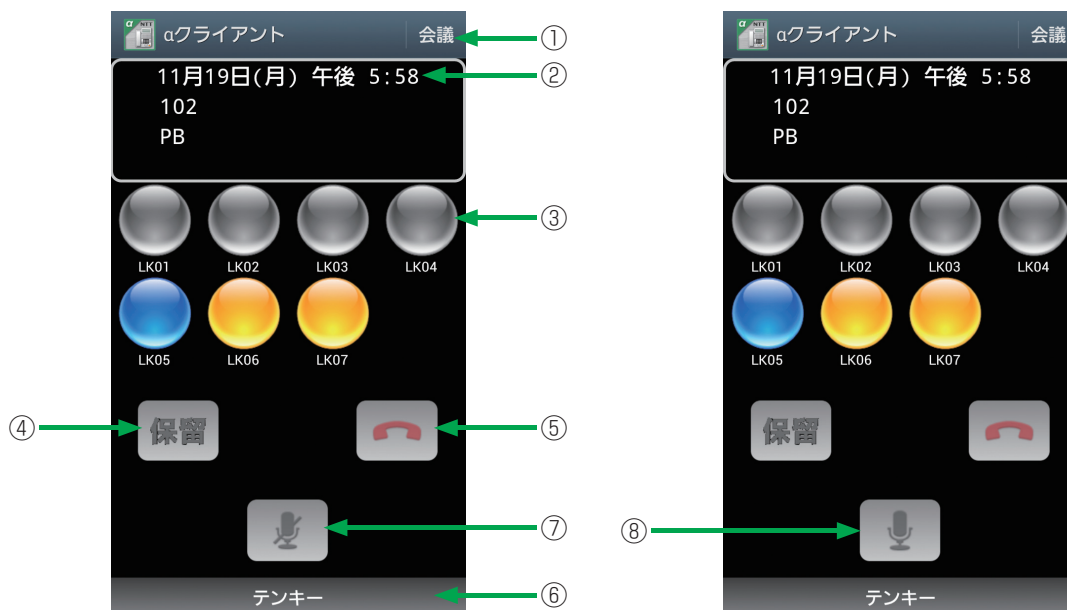
左右にフリックすると、他の回線キーの画面に切り替わります。









③ 応答ボタン 

 ボタンをタップすると、着信に応答します。

3.8 通話中画面

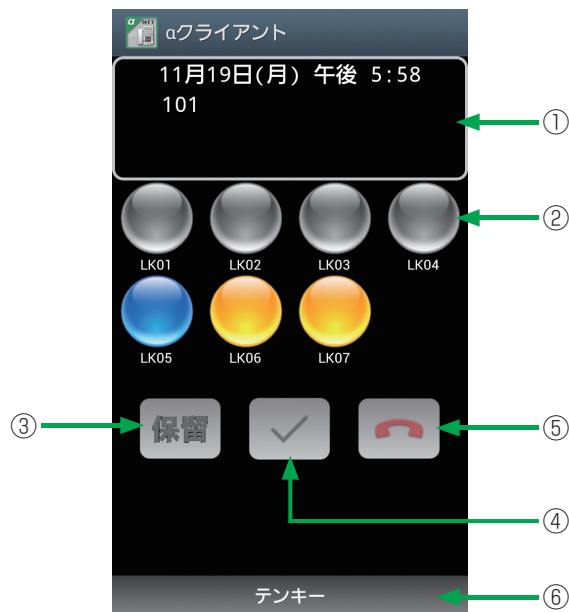
通話中画面を説明します。



- ① 会議ボタン 「会議」 ボタンをタップすると、「ダイヤル招集会議」、「口頭招集会議」が選択できます。
- ② LCD表示エリア 現在の時刻、通話中の相手の電話番号が表示されます。
- ③ 回線キー 主装置で設定した回線キーが表示されます。
各回線キーは、以下の色で表示します。
外線／拡張内線／索線／拡張内線グループ：グレー
パーク：黄色
サービスキー：青
左右にフリックすると、他の回線キーの画面に切り替わります。
- ④ 保留ボタン   ボタンをタップすると、通話を保留します。
- ⑤ 切断ボタン   ボタンをタップすると、通話を切ります。
※ 相手から切られた場合、しばらくすると「オンフック忘れていませんか？」のポップアップが表示されますので、このボタンをタッチして通話を切ってください。(通話に使用している回線によっては表示されないことがあります)
- ⑥ テンキー 上方向にフリックすることで、テンキーが表示されます。
通話中にダイヤルを入力するときに使用します。
- ⑦ ミュートボタン   ボタンをタップすると、送話されなくなります。
- ⑧ ミュート解除ボタン   ボタンをタップすると、送話します。

3.9 転送画面

転送先と通話中の画面を説明します。



① LCD表示エリア

現在の時刻、通話中の相手の電話番号が表示されます。

② 回線キー

主装置で設定した回線キーが表示されます。

各回線キーは、以下の色で表示します。


外線／拡張外線／索線／拡張外線グループ：グレー

パーク：黄色


サービスキー：青

左右にフリックすると、他の回線キーの画面に切り替わります。


③ 保留ボタン 

 ボタンをタップすると、保留に応答します。

④ 決定ボタン 

 ボタンをタップすると、転送します。

⑤ 切断ボタン 

 ボタンをタップすると、通話を切ります。

⑥ テンキー

上方向にフリックすることで、テンキーが表示されます。

通話中にダイヤルを入力するときに使用します。

3.10 待機中メニュー画面

待機中にスマートフォンのメニューボタンを押下したときの待機中メニュー画面を説明します。



- ① システム設定 「システム設定」をタップすると、システム設定メニュー画面が表示されます。
- ② 端末設定 「端末設定」をタップすると、端末設定メニュー画面が表示されます。
- ③ ピクト表示クリア 「ピクト表示クリア」をタップすると、LCD表示エリアにでてくるピクト表示をクリアします。
- ④ 連携モード切替 「連携モード切替」をタップすると、連携モード待機中画面に変わります。Type-S/Mでは、このメニューは表示されません。
- ⑤ アプリ終了 「アプリ終了」をタップすると、ビジネスフォンαクライアントが終了します。

3.11 発信中メニュー画面

発信中にスマートフォンのメニューボタンを押下したときの発信中メニュー画面を説明します。



① アプリ終了

「アプリ終了」をタップすると、ビジネスフォンαクライアントが終了します。

3.12 通話中メニュー画面

通話中にスマートフォンのメニューボタンを押下したときの通話中メニュー画面を説明します。






- ① 機能 「機能」をタップすると、機能メニュー画面が表示されます。
- ② アプリ終了 「アプリ終了」をタップすると、ビジネスフォンαクライアントが終了します。

3.13 連携モード待機中画面

連携モードの待機中画面を説明します。



- | | |
|---|--|
| ① 着信履歴クイックボタン
(日付順) | タップすると、着信履歴クイックボタン(日付順)に表示されている電話番号へ連携先のKTから発信します。 |
| ② 発信履歴クイックボタン
(日付順) | タップすると、発信履歴クイックボタン(日付順)に表示されている電話番号へ連携先のKTから発信します。 |
| ③ 着信履歴クイックボタン
(頻度順) | タップすると、着信履歴クイックボタン(頻度順)に表示されている電話番号へ連携先のKTから発信します。 |
| ④ 発信履歴クイックボタン
(頻度順) | タップすると、発信履歴クイックボタン(頻度順)に表示されている電話番号へ連携先のKTから発信します。 |
| ⑤ お気に入りクイックボタン | タップすると、お気に入りクイックボタンに登録された相手に連携先のKTから発信します。 |
| ⑥ システム設定クイックボタン | タップすると、登録したシステム設定が連携先のKTから行なわれます。 |
| ⑦ 発着信履歴ボタン | 発着信履歴画面を表示させるときに使用します。 |
|  | |
| ⑧ WEBアドレス帳ボタン | WEBアドレス帳を利用するときに表示します。 |
|  | |
| ⑨ 標準電話帳ボタン | Android標準の電話帳を利用するときに表示します。 |
|  | |

3.14 連携モード待機中メニュー画面

連携モードの待機中メニュー画面を説明します。





- ① 電話機モード切替 電話機モードに切り替えるときに使用します。
- ② システム設定 「システム設定」をタップすると、システム設定メニュー画面が表示されます。
- ③ 端末設定 「端末設定」をタップすると、端末設定メニュー画面が表示されます。
- ④ 連携先内線端末変更 「連携先内線端末変更」をタップすると、連携モードの起動ダイアログが表示されます。
- ⑤ アプリ終了 「アプリ終了」をタップすると、ビジネスフォンαクライアントが終了します。

3.15 連携モードお気に入り登録／削除画面

連携モードのお気に入り登録／削除画面を説明します。発信履歴クイックボタン、または着信履歴クイックボタンをロングタッチすると表示されます。



- ① お気に入り登録アイコン  クイックボタンをドラッグ&ドロップするとお気に入りへの登録ダイアログが表示されます。
- ② 削除アイコン  クイックボタンをドラッグ&ドロップするとクイックボタンを削除できます。

3.16 連携モード削除／編集画面

連携モードの削除／編集画面を説明します。お気に入りクイックボタン、またはシステム設定ボタンをロングタッチすると表示されます。



① 削除アイコン



クイックボタンをドラッグ&ドロップするとクイックボタンを削除できます。

② 編集アイコン



クイックボタンをドラッグ&ドロップするとクイックボタンの名称の変更ダイアログが表示されます。


4. 設定

4.1 無線／ネットワークを設定する

無線／ネットワークの設定方法を説明します。



手順①

- スマートフォンのメニューボタンを押下します。
-  をタップします。



手順②

- 「Wi-Fi」をタップし設定画面を表示させます。
主装置と接続されているアクセスポイントを選択し、必要なWi-Fiの設定をしてください。

Wi-Fiの設定方法の詳細は、スマートフォンの取扱説明書をご確認ください。

4.2 主装置関連の設定をする

主装置関連の設定を説明します。

主装置関連の設定は、当社工事者が行います。お客様で設定変更は行わないでください。

設定変更を行った場合、ビジネスフォンαクライアントが利用できなくなる可能性があります。



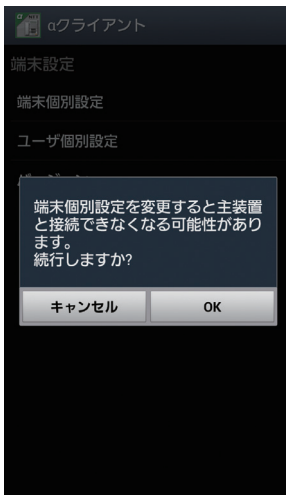
手順①

- 待機中にスマートフォンのメニューボタンを押下します。
- 「端末設定」をタップします。



手順②

- 「端末個別設定」をタップすると、警告ダイアログが表示されます。



手順③

- 警告ダイアログで「OK」をタップすると、端末個別設定画面が表示されます。
- 「キャンセル」をタップすると、警告ダイアログが消えます。



4.2.1 主装置設定を設定する



手順①

- 「主装置設定」をタップすると、主装置設定画面が表示されます。



4.2.1.1 主装置種別を設定する

主装置種別設定は、電話機モードのときに表示します。連携モード時はグレーアウト表示となり、利用できません。



手順①

- 主装置設定画面で「主装置種別」をタップすると、主装置種別ダイアログが表示されます。
- alphaNX II-L/P、alphaNX II-S/Mが選択できます。

4.2.1.2 主装置IPアドレスを設定する



手順①

- 主装置設定画面で「主装置IPアドレス」をタップすると、主装置IPアドレスダイアログが表示されます。
- 入力枠をタップし、IPアドレスを入力します。

4.2.1.3 主装置TCPポートを設定する



手順①

- 主装置設定画面で「主装置TCPポート」をタップすると、主装置TCPポートダイアログが表示されます。
- 入力枠をタップし、TCPポート番号を入力します。

4.2.1.4 端末番号を設定する



手順①

- 主装置設定画面で「端末番号」をタップすると、端末番号ダイアログが表示されます。
- 入力枠をタップし、端末番号を入力します。

4.2.1.5 ユーザIDを設定する



手順①

- 主装置設定画面で「ユーザID」をタップすると、ユーザIDダイアログが表示されます。
- 入力枠をタップし、ユーザIDを入力します。

4.2.1.6 主装置接続リトライ間隔を設定する



手順①

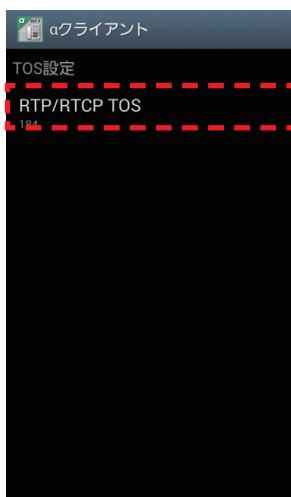
- 主装置設定画面で「主装置接続リトライ間隔」をタップすると、主装置接続リトライ間隔ダイアログが表示されます。
- 入力枠をタップし、主装置接続リトライ間隔を入力します。

4.2.2 音声パケットの優先度を設定する



手順①

- 「TOS設定」をタップすると、TOS設定画面が表示されます。



手順②

- 「RTP/RTCP TOS」をタップすると、RTP/RTCP TOSダイアログが表示されます。



手順③

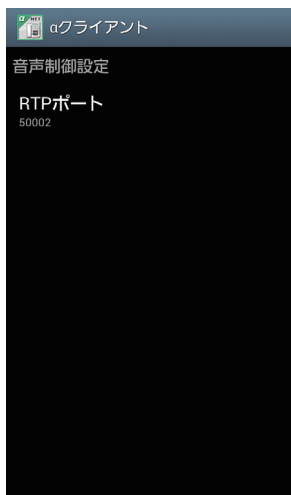
- 入力枠をタップし、RTP/RTCP TOSの値を入力します。

4.2.3 音声制御設定を設定する

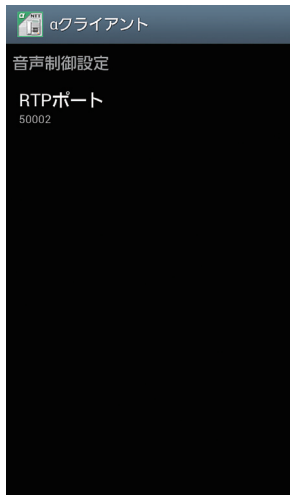


手順①

- 「音声制御設定」をタップすると、音声制御設定画面が表示されます。



4.2.3.1 音声制御を自動設定する



手順①

- スマートフォンのメニューボタンを押下します。



手順②

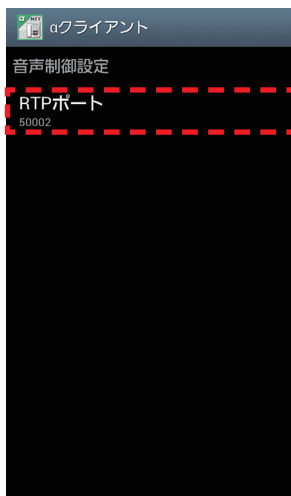
- 「自動設定」をタップすると、端末の機種を選択するダイアログが表示されます。



手順③

- 利用している端末の機種のリジオボタンをタップすると、機種が選択され、音声制御の自動設定が行われます。
変更内容は、ビジネスフォンαクライアントのアプリを終了し、再起動後に反映されます。
ビジネスフォンαクライアントが対応している機種が表示されます。

4.2.3.2 RTPポートを設定する



手順①

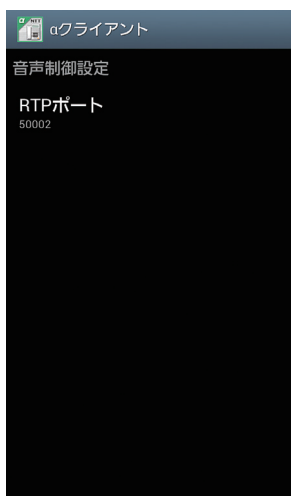
- 「RTPポート」をタップすると、RTPポートダイアログが表示されます。



手順②

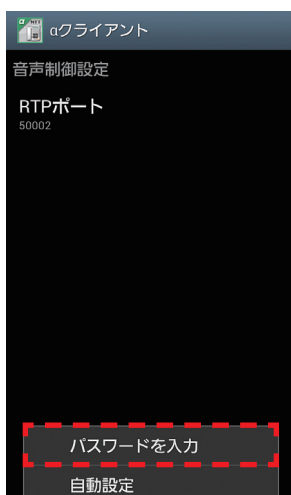
- 入力枠をタップし、RTPポート番号を入力します。

4.2.3.3 工事者モードに変更する



手順①

- スマートフォンのメニューボタンを押下します。



手順②

- 「パスワードを入力」をタップすると、パスワードの入力ダイアログが表示されます。



手順③

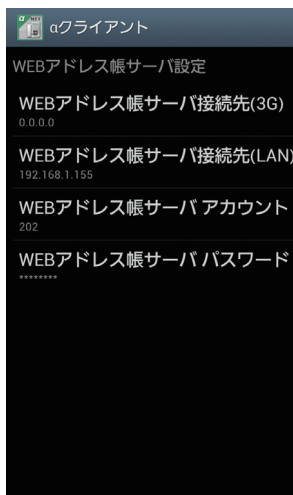
- 入力枠をタップし、パスワードを入力します。

4.2.4 WEBアドレス帳サーバ設定を設定する



手順①

- 「WEBアドレス帳サーバ設定」をタップすると、WEBアドレス帳サーバ設定画面が表示されます。



4.2.4.1 WEBアドレス帳サーバ接続先（3G）を設定する



手順①

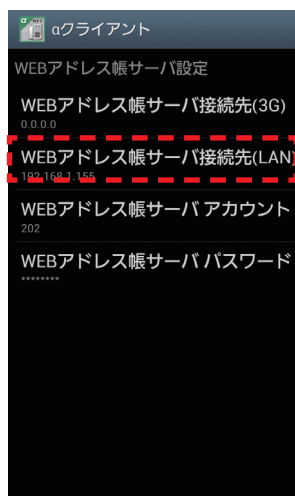
- 「WEBアドレス帳サーバ接続先（3G）」をタップすると、WEBアドレス帳サーバ接続先（3G）ダイアログが表示されます。



手順②

- 入力枠をタップし、WEBアドレス帳サーバ接続先（3G）のIPアドレスもしくはドメイン名を入力します。

4.2.4.2 WEBアドレス帳サーバ接続先 (LAN) を設定する



手順①

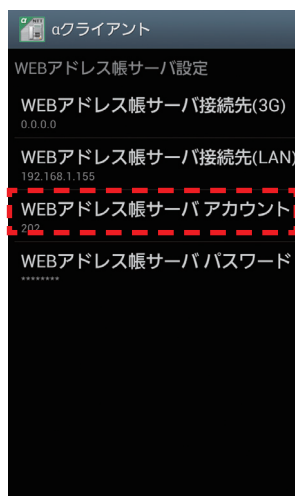
- 「WEBアドレス帳サーバ接続先 (LAN)」をタップすると、WEBアドレス帳サーバ接続先 (LAN) ダイアログが表示されます。



手順②

- 入力枠をタップし、WEBアドレス帳サーバ接続先 (LAN) のIPアドレスを入力します。

4.2.4.3 WEBアドレス帳サーバアカウントを設定する



手順①

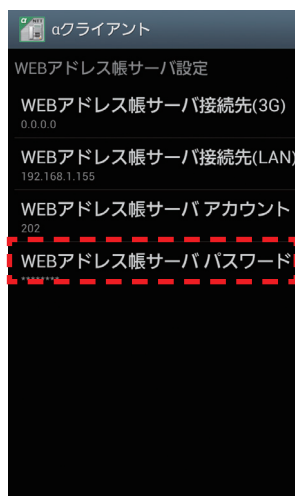
- 「WEBアドレス帳サーバアカウント」をタップすると、WEBアドレス帳サーバアカウントダイアログが表示されます。



手順②

- 入力枠をタップし、WEBアドレス帳サーバのアカウントを入力します。

4.2.4.4 WEBアドレス帳サーバパスワードを設定する



手順①

- 「WEBアドレス帳サーバパスワード」をタップすると、WEBアドレス帳サーバパスワードダイアログが表示されます。

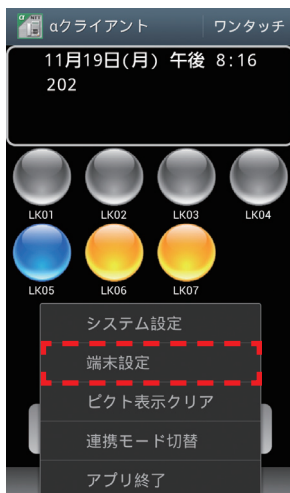


手順②

- 入力枠をタップし、WEBアドレス帳サーバのパスワードを入力します。

4.3 KT連携を設定する

KT連携の設定方法を説明します。KT連携の設定には、連携先KTの端末番号の設定、および、連携モードのプレフィックス選択があります。



手順①

- 待機中画面、または、連携モード待機中画面でスマートフォンのメニューボタンを押下します。
- 「端末設定」をタップします。



手順②

- 「KT連携設定」をタップすると、KT連携設定画面が表示されます。

4.3.1 端末番号を設定する



手順①

- 「端末番号」をタップすると、端末設定ダイアログが表示されます。
- 端末設定ダイアログに連携モード用端末の端末番号を入力します。入力する端末番号は、工事者にご確認ください。

4.3.2 プレフィックス選択を設定する



手順①

- 「プレフィックス選択」をタップすると、プレフィックス選択ダイアログが表示されます。
- 「有効」、「無効」を選択することができます。
 - 有効：発信履歴クイックボタン、着信履歴クイックボタン、お気に入りクイックボタンをタップしたとき、プレフィックス選択ダイアログが表示されます。
 - 無効：発信履歴クイックボタン、着信履歴クイックボタン、お気に入りクイックボタンをタップしたとき、プレフィックス選択ダイアログが表示されません。

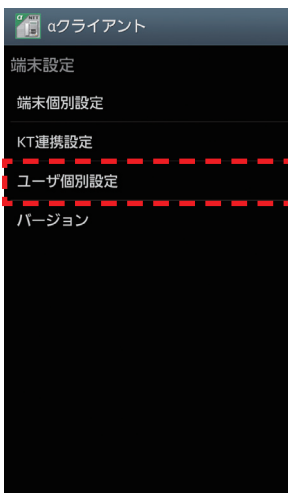
4.4 ビジネスフォンαクライアントをカスタマイズする

ビジネスフォンαクライアントのカスタマイズを「ユーザ個別設定」から行うことができます。ユーザ個別設定画面の移動方法を説明します。



手順①

- 待機中にスマートフォンのメニューボタンを押下します。
- 「端末設定」をタップします。



手順②

- 「ユーザ個別設定」をタップすると、ユーザ個別設定画面が表示されます。

4.4.1 文字色を変更する

ビジネスフォンαクライアントの文字色の変更を説明します。



手順①

- ユーザ個別設定画面の「文字色」をタップします。



手順②

- 文字色選択ダイアログから、「白」、「黒」のいずれかを選択すると、文字色を変更されます。ただし、メニューの文字色は変更されません。

4.4.2 壁紙を変更する

ビジネスフォンαクライアントの壁紙の変更を説明します。



手順①

- ユーザ個別設定画面の「壁紙」をタップします。



手順②

- 壁紙設定画面で「壁紙なし」、「フォルダーから選択」が選択できます。
- 「壁紙なし」を選択した場合は、確認ダイアログで「OK」をタップすると設定が更新されます。
- 「フォルダーから選択」を選択した場合は、Androidのギャラリーのアプリケーションが表示されます。ギャラリーに表示されている壁紙の中から1つ選択することで、壁紙が更新されます。

4.4.3 回線キーの名称、配置を変更する

ビジネスフォンαクライアントの回線キーの名称、配置の変更を説明します。
連携モード時は、回線キー設定はグレーアウト表示になり利用できません。



手順①

- ユーザ個別設定画面の「回線キー設定」をタップします。



手順②

- 回線キー設定画面の「回線キー」をタップします。
- 回線キーのキー詳細、種別、名称、面、位置の情報が表示されます。



手順③

- 回線キー設定画面の名称の入力枠中をタップすると、名称を入力できます。



手順④

- 回線キー設定画面の「回線キー」をドラッグ&ドロップすると、ボタンの配置を変更することができます。ただし、自動ソートが設定されている場合は、配置を変更できません。
- 自動ソートの設定は、メニューボタンを押下すると表示されます。チェックが入っていると回線キーが前詰めされて表示されます。チェックがないと前詰めはされません。
- 初期配置に戻すときは、メニューボタンを押下し、「初期配置に戻す」をタップすると初期配置に戻ります。



4.4.4 着信メロディを変更する

ビジネスフォンαクライアントの着信メロディの変更を説明します。



手順①

- ユーザ個別設定画面の「着信メロディ設定」をタップします。



手順②

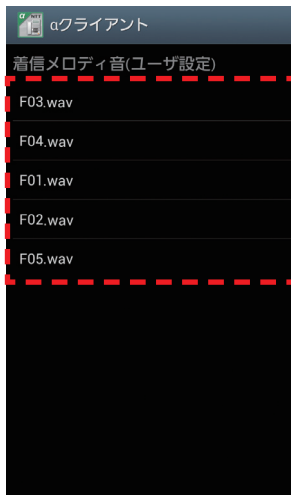
- 着信メロディ設定画面で「着信メロディ1」～「着信メロディ16」が選択できます。
- 「着信メロディ1」～「着信メロディ16」の中から変更したい着信メロディをタップします。

※「着信メロディ1」～「着信メロディ16」は、機能メニューの着信音色設定のメロディに対応して設定が行われます。



手順③

- 着信メロディパターン画面で「プリセット」、「ユーザ設定」、「メロディなし」が選択できます。
- 「プリセット」、「メロディなし」を選択したとき、確認ダイアログが表示され、「OK」をタップすると設定が更新されます。
- 「ユーザ設定」を選択したとき、着信メロディ音（ユーザ設定）画面が表示されます。



手順④

- Androidの「/mnt/sdcard/music」にある楽曲ファイルを表示し、楽曲ファイルをタップします。着信メロディが選択され確認ダイアログが表示されます。
- 「OK」をタップすると設定が反映されます。



4.4.5 ワンタッチダイヤルを登録する

ビジネスフォンαクライアントのワンタッチダイヤルの登録方法を説明します。
連携モード時は、ワンタッチダイヤル設定はグレーアウト表示になり利用できません。



手順①

- ユーザ個別設定画面の「ワンタッチダイヤル設定」をタップします。



手順②

- ワンタッチダイヤル登録画面で、8件のワンタッチダイヤルが登録できます。
- 8件の中から1つをタップすると、選択した登録画面が表示されます。



手順③

- 登録画面は、名称の設定と、操作の登録、および登録内容の確認ができます。
- 登録画面で「名称」をタップし名称を入力します。
名称を入力しない場合、未登録と表示されます。
- 登録画面で「操作登録」をタップすると操作の登録が開始されます。



手順④

- 登録が開始されると待機中画面が表示され、ビジネスフォンαクライアントの操作を行うと、操作が記録されます（登録中も操作は有効となります）。
- アクションバーに表示されている「記録終了」をタップすることで登録を終了します。

注意：通話が切断されると自動的に記録が終了します。

4.4.6 WiFi圏外警告レベルのWi-Fi強度を調整する

WiFi圏外警告レベルのWi-Fi強度の調整方法を説明します。



手順①

- ユーザ個別設定画面の「WiFi 圏外警告レベル」をタップします。



手順②

- スライダーで、Wi-Fiの電波強度を5段階で調整します。
- 右に移動するほど、Wi-Fiの電波強度が強い状態でWi-Fi圏外警告音が出ます。
- Wi-Fiの電波強度を弱く設定すると、警告音ができる前に通話が途切れたり、切断等の操作ができなくなったりすることがあります。

4.4.7 発着信履歴のセキュリティを設定する

発着信履歴のWi-Fi圏外での利用可否の設定方法を説明します。



手順①

- ユーザ個別設定画面の「発着信履歴セキュリティ設定」をタップします。



手順②

- 「非活性時参照不可」をタップすると、Wi-Fi圏外で発着信履歴の参照はできなくなります。
- 「非活性時参照可能」をタップすると、Wi-Fi圏外でも発着信履歴の参照ができます。

4.4.8 設定をインポート／エクスポートする

ビジネスフォンαクライアントの設定のインポート／エクスポートの方法を説明します。



手順①

- ユーザ個別設定画面の「インポート/エクスポート」をタップします。



手順②

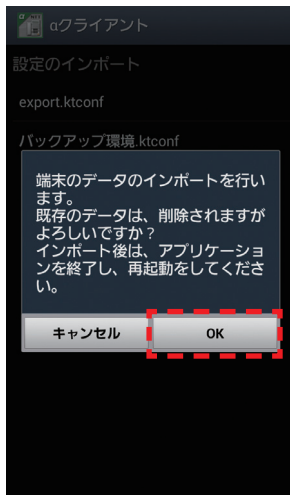
- インポート/エクスポート画面で「設定のインポート」、「設定のエクスポート」が選択できます。
- 「設定のインポート」を選択した場合は、手順③-1を参照してください。
- 「設定のエクスポート」を選択した場合は、手順④-1を参照してください。



手順③-1

- 設定のインポート画面で、インポートしたいファイルをタップします。
- インポートするファイルは、Android の「/mnt/sdcard/Download」フォルダー配下のktconf拡張子を持つファイルのみが表示されます。

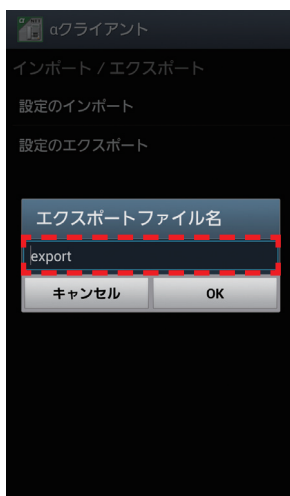
注意：インポートができるファイルは、ビジネスフォンαクライアントでエクスポートしたファイルのみです。



手順③-2

- 確認ダイアログが表示されますので、「OK」をタップします。「OK」をタップすると設定をインポートします。設定のインポートを行った場合、ビジネスフォンαクライアントのアプリケーションをメニューから終了し、再起動してください。

注意：インポートした場合、インポート前に設定されていたデータは削除されます。

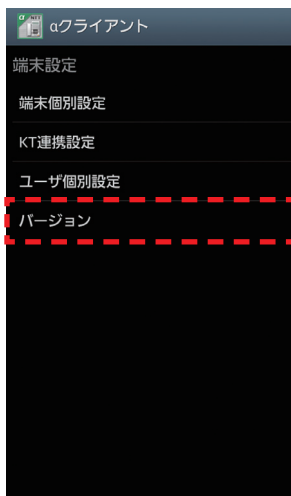


手順④-1

- エクスポートファイル名ダイアログで、ファイル名を入力します。エクスポートするファイルは、Androidの「/mnt/sdcard/Download」フォルダー配下に格納されます。また拡張子は、ktconfとなります。さらにエクスポートが終了すると待機画面に遷移します。

4.4.9 ビジネスフォンαクライアントのバージョンを確認する

ビジネスフォンαクライアントのバージョン確認の方法を説明します。



手順①

- 端末設定画面で「バージョン」をタップします。



手順②

- バージョン画面で「NTTホームページへ」以外をタップすると、待機中画面に戻ります。
- バージョン画面で「NTTホームページへ」をタップすると、Androidのブラウザで<http://www.ntt.co.jp>を開きます。

4.5 設定一覧

ビジネスフォンαクライアントのメニューから各設定／機能メニューを呼び出すことができます。

αNXⅡシステム（Type-L/P）電話機モードのメニュー一覧（1／2）

端末状態	設定項目		
待機中	システム 設定	着信音色設定	
		外線毎着信 拒否設定	着信拒否解除
			内線着信拒否
			外線着信拒否
			内外線着信拒否
		ガイダンス設定	ガイダンス登録
			ガイダンス録音
			モード対応ガイダンス登録
		不在着信転送 設定	転送解除
			個別／放送着信転送
	個別着信転送		
	留守番電話 対象キー設定	解除	
		設定	
	ワンタッチ コールバック 設定	ワンタッチコールバック設定	
		ワンタッチコールバック起動	
		ワンタッチコールバック停止	
	トーキ登録設定		
システムバージョン確認			
ピクト表示クリア			
端末設定	端末個別設定	主装置設定	主装置種別
			主装置IPアドレス
			主装置TCPポート
			端末番号
			ユーザID
			主装置接続リトライ間隔
		TOS設定	RTP/RTCP TOS
		音声制御設定	RTPポート
			自動設定
		WEBアドレス帳 サーバ設定	WEBアドレス帳サーバ接続先（3G）
	WEBアドレス帳サーバ接続先（LAN）		
	WEBアドレス帳サーバアカウント		
	WEBアドレス帳サーバパスワード		
ログ設定			
KT連携設定	端末番号		
	プレフィックス選択		

αNXⅡシステム (Type-L/P) 電話機モードのメニュー一覧 (2/2)

端末状態	設定項目		
待機中	端末設定	ユーザ個別設定	文字色
			壁紙
			回線キー設定
			着信メロディ設定
			ワンタッチダイヤル設定
			WiFi圏外警告レベル
			発着信履歴セキュリティ設定
			インポート/ エクスポート
	バージョン		
	連携モード切替		
アプリ終了			
発信中	アプリ終了		
通話中	機能	フッキング	
		留守番電話通話割込	
		外線の転送呼の通話割込	
		ピクト表示クリア	
		システムバージョン確認	
	アプリ終了		

αNXIIシステム (Type-L/P) 連携モードのメニュー一覧 (1/2)

端末状態	設定項目			
待機中	システム 設定	着信音色設定		
		外線毎着信 拒否設定	着信拒否解除	
			内線着信拒否	
			外線着信拒否	
			内外線着信拒否	
		ガイダンス設定	ガイダンス登録	
			ガイダンス録音	
			モード対応ガイダンス登録	
		不在着信転送 設定	転送解除	
			個別／放送着信転送	
			個別着信転送	
		留守番電話対象 キー設定	解除	
	設定			
	ワンタッチ コールバック 設定	ワンタッチコールバック設定		
		ワンタッチコールバック起動		
		ワンタッチコールバック停止		
	トーキ登録設定			
	システムバージョン確認			
	端末設定	端末個別設定	主装置設定	主装置種別
				主装置IPアドレス
				主装置TCPポート
				端末番号
				ユーザID
主装置接続リトライ間隔				
TOS設定			RTP/RTCP TOS	
音声制御設定			RTPポート	
			自動設定	
WEBアドレス帳 サーバ			WEBアドレス帳サーバ接続先 (3G)	
		WEBアドレス帳サーバ接続先 (LAN)		
		WEBアドレス帳サーバアカウント		
		WEBアドレス帳サーバパスワード		
ログ設定				
KT連携設定		端末番号		
	プレフィックス選択			

αNXIIシステム (Type-L/P) 連携モードのメニュー一覧 (2/2)

端末状態	設定項目		
待機中	端末設定	ユーザー個別 設定	文字色
			壁紙
			回線キー設定
			着信メロディ設定
			ワンタッチダイヤル設定
			WiFi圏外警告レベル
			発着信履歴セキュリティ設定
			インポート/ エクスポート
		バージョン	
		電話機モード切替	
		アプリ終了	

αNXIIシステム (Type-S/M) メニュー一覧

端末状態	設定項目			
待機中	システム 設定	外線着信拒否設定		
		留守番電話動作設定		
		個別留守番電話回線設定		
		放送留守番電話回線設定		
		圏外時サービス設定		
		不在着信設定		
	ピクト表示クリア			
	端末設定	端末個別設定	主装置設定	主装置種別
				主装置IPアドレス
				主装置TCPポート
				端末番号
				ユーザID
				主装置接続リトライ間隔
			TOS設定	RTP/RTCP TOS
			音声制御設定	RTPポート
				自動設定
			WEBアドレス帳 サーバ	WEBアドレス帳サーバ接続先 (3G)
				WEBアドレス帳サーバ接続先 (LAN)
				WEBアドレス帳サーバアカウント
		WEBアドレス帳サーバパスワード		
		ログ設定		
		ユーザー個別 設定	文字色	
			壁紙	
			回線キー設定	
			着信メロディ設定	
	ワンタッチダイヤル設定			
	WiFi圏外警告レベル			
発着信履歴セキュリティ設定				
インポート/ エクスポート	インポート エクスポート			
バージョン				
アプリ終了				
発信中	アプリ終了			
通話中	機能	フッキング		
		通話モニタ		
		システムバージョン確認		
	アプリ終了			

5. 操作方法

5.1 αNXⅡシステム (Type-S/M) / αNXⅡシステム (Type-L/P) の共通操作

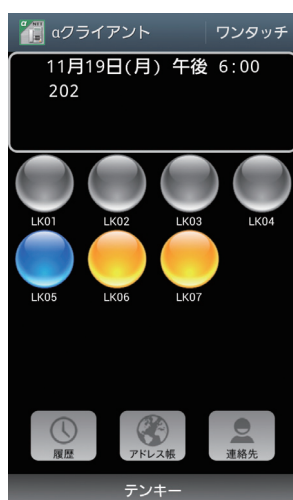
画面例のLCD表示エリアに表示される文字列は、Type-S/MとType-L/Pにより異なります。各画面例にはType-L/PのLCD表示エリアを使用しています。

5.1.1 発信する

ビジネスフォンαクライアントの電話機モードの発信方法を説明します。

5.1.1.1 ダイヤル入力して内線発信する

ビジネスフォンαクライアントからの内線発信方法を説明します。




手順①

- 待機中画面で「テンキー」を上方向にフリックします。
- テンキーが表示されます。

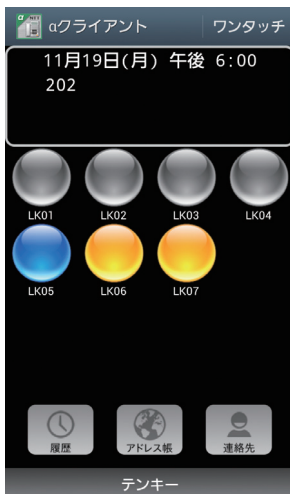


手順②

- テンキーから内線番号を入力します。
- 入力が終わったら、 ボタンをタップすると内線発信を行います。

5.1.1.2 ダイヤル入力して外線発信する

ビジネスフォンαクライアントからの外線発信方法を説明します。



手順①

- 待機中画面で「テンキー」を上方向にフリックします。
- テンキーが表示されます。



手順②

- テンキーで外線のダイヤルを入力します。
- 入力が終わったら、「回線キー」をタップすると外線発信を行います。
- 「回線キー」をタップする前にアクションバーの「プレフィックス」をタップすると、プレフィックス選択ダイアログが表示されます。表示された「184付加」、「186付加」、「国際電話 (010)」、「0発信」のうち1つをタップすると、選択したダイヤルが表示されているダイヤル列の先頭に追加されます。





5.1.1.3 着信履歴から発信する

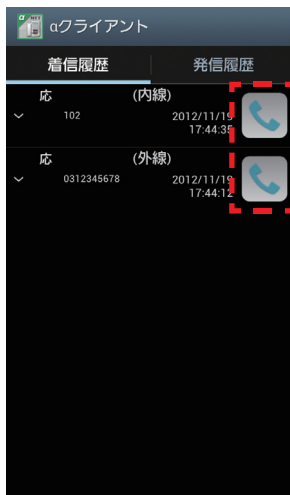
ビジネスフォンαクライアントの着信履歴からの発信方法を説明します。




手順①

- 待機中画面で  ボタンをタップすると、着信履歴画面が表示されます。

注意：発着信履歴のセキュリティ設定で「非活性時参照不可」に設定している場合、主装置との通信が切れているときは、 ボタンは表示されません。

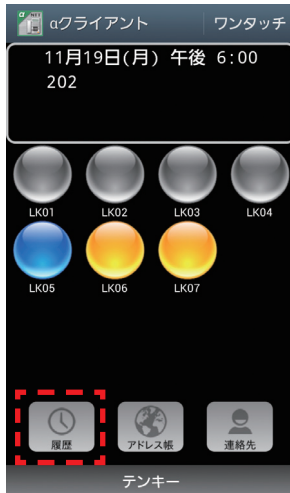


手順②


- 着信履歴画面で、 ボタンをタップすると、履歴画面に表示されているダイヤルで発信を行います。


5.1.1.4 発信履歴から発信する

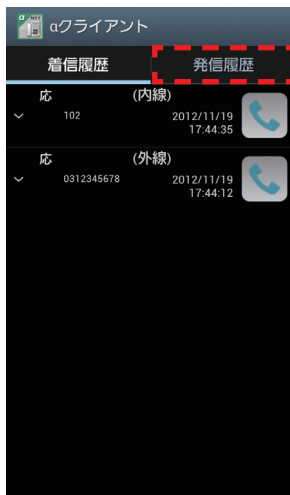
ビジネスフォンαクライアントの発信履歴からの発信方法を説明します。



手順①

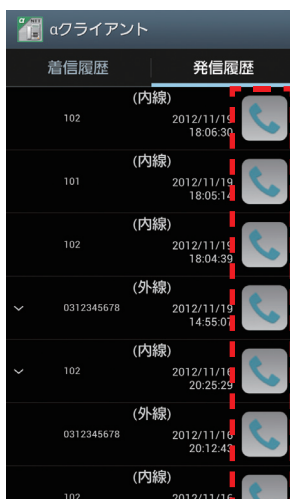
- 待機中画面で  ボタンをタップすると、着信履歴画面が表示されます。

注意：発着信履歴のセキュリティ設定で「非活性時参照不可」に設定している場合、主装置との通信が切れているときは、 ボタンは表示されません。




手順②

- 着信履歴画面で、「発信履歴」をタップすると、発信履歴画面が表示されます。

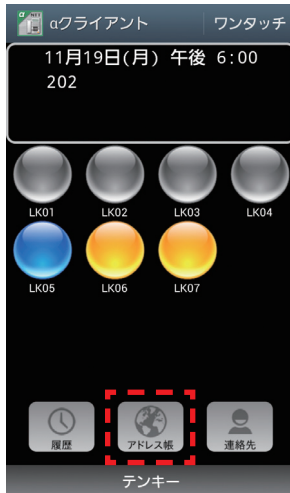


手順③


- 発信履歴画面で、 ボタンをタップすると、履歴画面上に表示されているダイヤルで発信を行います。

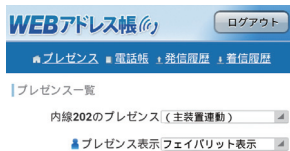
5.1.1.5 WEBアドレス帳から発信する

WEBアドレス帳からの発信方法を説明します。

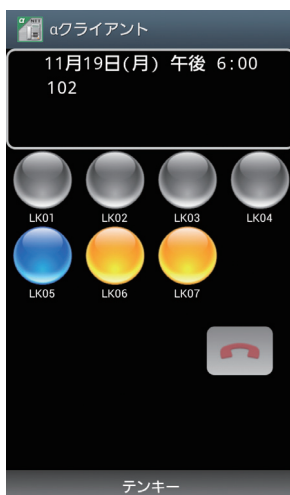


手順①

- 待機中画面で  ボタンをタップすると、ブラウザが開きWEBアドレス帳にログインしたページが表示されます。



発信操作については、WEBアドレス帳取扱説明書を参照してください。



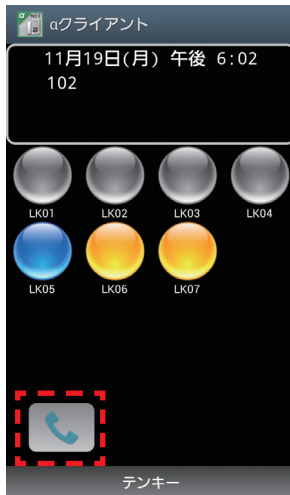
WEBアドレス帳からの発信操作後は、左の発信中画面が表示されます。

※ WEBアドレス帳からの発信がうまくいかない場合、一度WEBアドレス帳からログアウトして、再度  ボタンをタップしてください。


5.1.2 着信に応答する

ビジネスフォンαクライアントでの着信の応答方法を説明します。

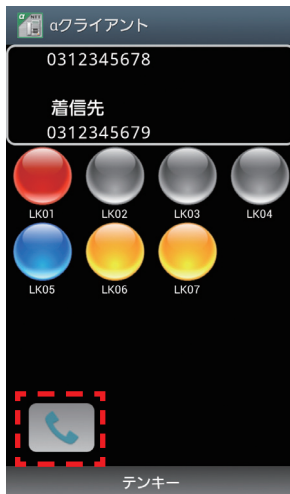
5.1.2.1 内線着信に応答する



手順①

- ビジネスフォンαクライアントに着信すると、着信画面になります。この画面で  ボタンをタップして応答します。

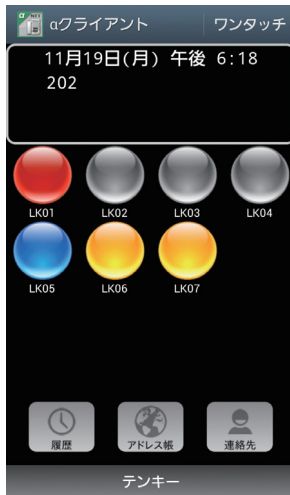
5.1.2.2 鳴動している外線着信に応答する



手順①

- ビジネスフォンαクライアントに着信すると、着信画面になります。着信鳴動している状態で、 ボタンをタップして応答します。

5.1.2.3 鳴動していない外線着信に応答する



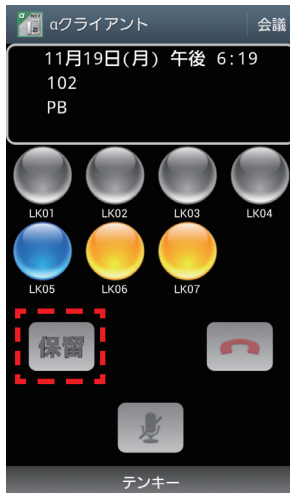
手順①

- ビジネスフォンαクライアントに着信すると回線キーが赤点滅します。赤点滅している「回線キー」をタップして応答します。

5.1.3 通話を保留する

ビジネスフォンαクライアントの通話の保留方法を説明します。

5.1.3.1 内線通話を保留／保留解除する



手順①

- 通話中画面で **保留** をタップして通話を保留します。保留されると **保留** ボタンが点滅します。



手順②

- 保留中の状態で点滅中の **保留** ボタンをタップすると、保留が解除され通話ができます。

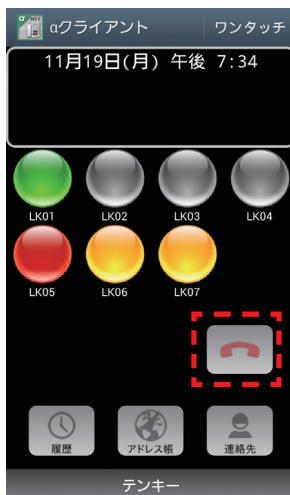


5.1.3.2 外線通話を保留／保留解除する




手順①

- 通話中画面で **保留** ボタンをタップして通話を保留します。保留されると「回線キー」が赤点滅、もしくは緑点滅します。



手順②

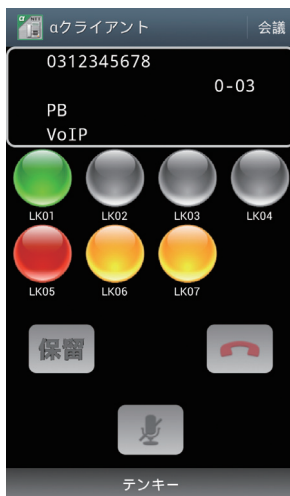
-  ボタンをタップします。



手順③

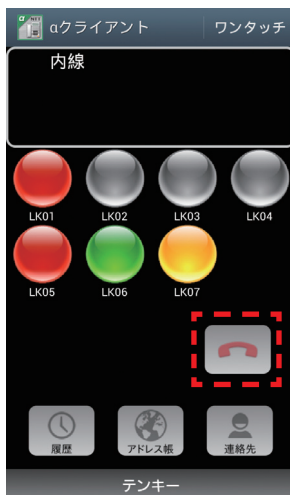
- 保留中の状態で赤点滅または緑点滅中の「回線キー」をタップすると、保留が解除され通話ができます。

5.1.3.3 パーク保留する




手順①

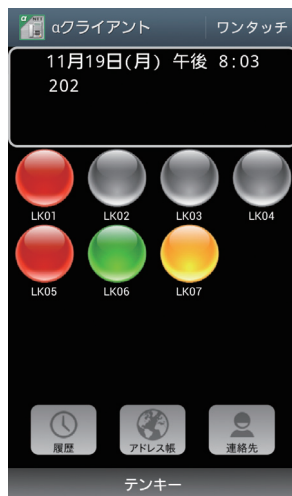
- 通話中画面で「パークキー」をタップし、通話を保留します。
- パークキーが点滅します。



手順②

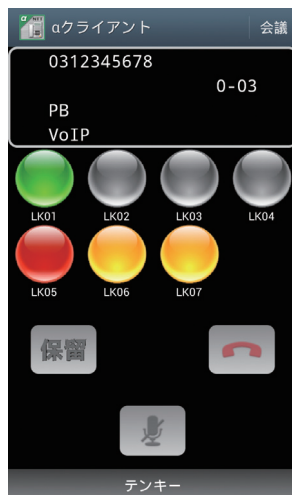
-  ボタンをタップします。

5.1.3.4 パーク保留をとる



手順①

- 待機中画面で点滅している「パークキー」をタップすると、パーク保留が解除され通話ができます。



5.1.4 通話を転送する

ビジネスフォンαクライアントでの通話の転送方法を説明します。



手順①

- 通話中画面で **保留** ボタンをタップすると、通話を保留し、転送先へのダイヤル入力が可能になります。



手順②

- **履歴** ボタン、**連絡先** ボタン、「テンキー」のいずれかをタップして、転送先の呼出しを行います。



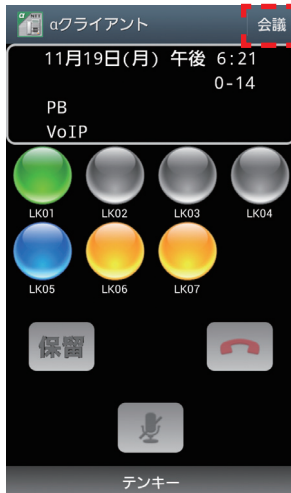
手順③

- 転送先が応答した後 **✓** ボタンをタップすると、転送が行われます。

5.1.5 会議通話をする

5.1.5.1 口頭招集会議（招集者側）

ビジネスフォンαクライアントでの口頭招集会議の方法を説明します。



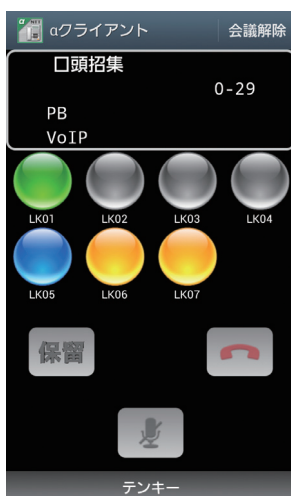
手順①

- 通話中画面でアクションバーの「会議」をタップする。
- 選択ダイアログが表示されます。

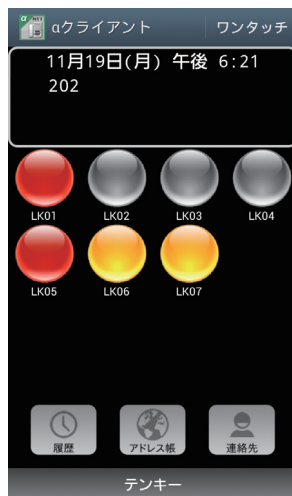


手順②

- 選択ダイアログの「口頭招集」をタップすると、別の端末の回線キーが会議参加可能な状態に変わります。



5.1.5.2 口頭招集会議（参加者側）



手順①

- 参加者側の端末で会議参加可能な赤点滅している回線キーをタップすると、口頭招集会議が行えます。

※ 口頭招集会議は、外線のみ利用できます。



口頭招集会議の画面は左の画面になります。

5.1.5.3 ダイヤル招集会議

ビジネスフォンαクライアントでのダイヤル招集会議の方法を説明します。



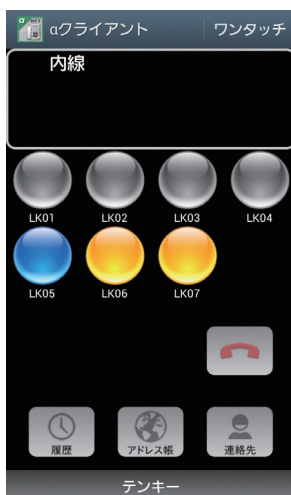
手順①

- 通話中画面でアクションバーの「会議」をタップします。
- 選択ダイアログが表示されます。





手順②

- 選択ダイアログで「ダイヤル招集」をタップすると、通話を保留し、招集先へのダイヤルが可能な画面に変わります。




手順③

-  ボタン、 ボタン、「テンキー」のいずれかをタップして、招集先の呼出しを行います。



手順④

- 招集先が応答した後、 ボタンをタップすることで、ダイヤル招集会議が行なわれます。



5.1.6 受話音量を調整する

ビジネスフォンαクライアントの受話音量の調整方法を説明します。

手順①

- Androidのボリュームボタンを操作することで受話音量を調整できます。
Androidのボリュームボタンの操作については、機種に依存しますので、ご利用の端末の取扱説明書を参照してください。

5.2 αNXⅡシステム (Type-L/P) 電話機モード

5.2.1 機能メニュー



手順①

- 通話中のスマートフォンのメニューボタンを押下します。



手順②

- 「機能」をタップすると、機能画面が表示されます。

5.2.1.1 フッキング

ビジネスフォンαクライアントでのフッキング方法を説明します。

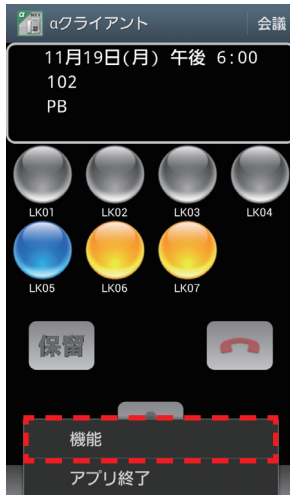


手順①

- 機能画面で「フッキング」をタップすると、フッキングが行われます。

5.2.1.2 留守番電話通話割込

ビジネスフォンαクライアントの留守番電話通話割込の方法を説明します。

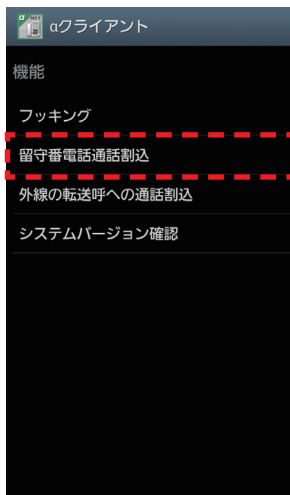


手順①

- 留守番電話録音中の回線キーをタップし、留守番電話をモニタします。

手順②

- 留守番電話録音中のスマートフォンのメニューボタンを押下します。「機能」をタップすると、機能画面が表示されます。

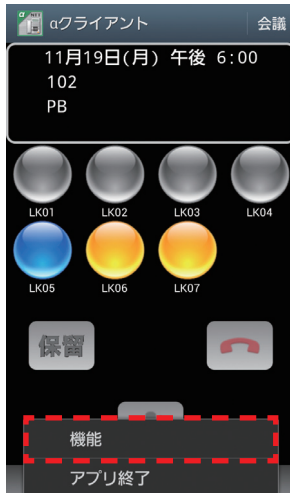


手順③

- 「留守番電話通話割込」をタップすると、留守番電話録音中の通話をとることができます。

5.2.1.3 外線の転送呼の通話割込

ビジネスフォンαクライアントの外線転送呼の通話割込の方法を説明します。

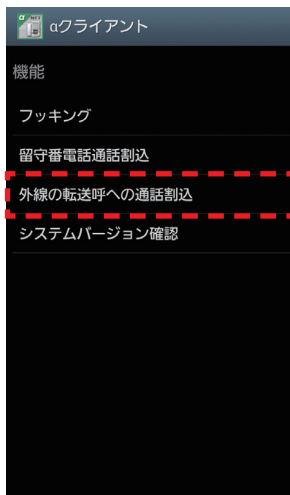


手順①

- 外線-外線転送をしている回線キーをタップし、通話をモニタします。

手順②

- モニタ中のスマートフォンのメニューボタンを押下します。「機能」をタップすると、機能画面が表示されます。

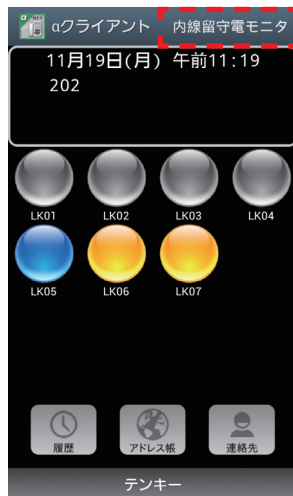


手順③

- 「外線の転送呼への通話割込」をタップすると、外線-外線転送の通話に割り込みます。

5.2.1.4 内線留守電モニタ

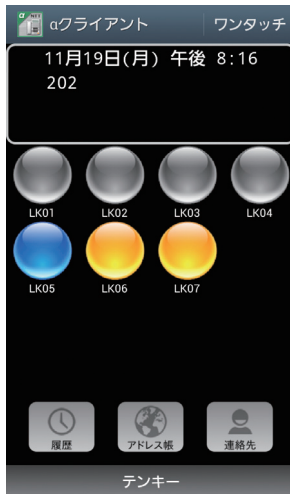
ビジネスフォンαクライアントの内線留守番電話設定時のモニタ方法について説明します。



手順①

- 留守番電話録音中に「内線留守電モニタ」をタップします。

5.2.2 システム設定メニュー



手順①

- 待機中のスマートフォンのメニューボタンを押下します。



手順②

- 「システム設定」をタップすると、システム設定画面が表示されます。



5.2.2.1 着信音色設定

主装置の着信音色の設定方法を説明します。



手順①

- システム設定画面で「着信音色設定」をタップすると、着信音色設定画面が表示されます。



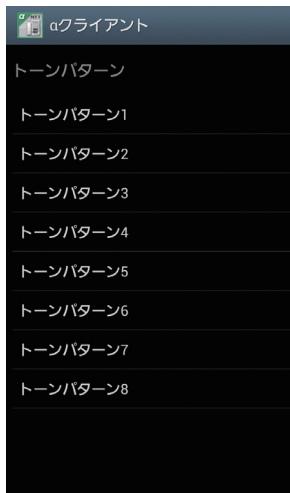
手順②

- 着信音色設定画面に「内線」、および外線キー一覧が表示されます。
- 着信音色の設定を行いたい外線キー、または内線をタップすると、トーンパターン/着信メロディ選択画面が表示されます。



手順③

- トーンパターン/着信メロディ選択画面で、「トーンパターン」、「着信メロディ」が選択できます。
- 「トーンパターン」を選択した場合は、手順④-1を参照してください。
- 「着信メロディ」を選択した場合は、手順⑤-1を参照してください。




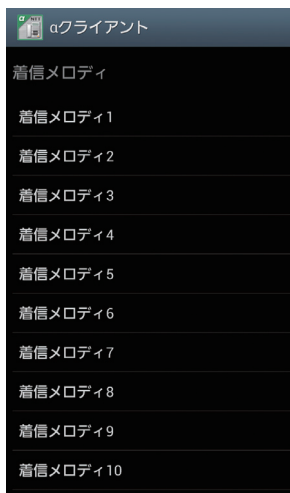
手順④-1

- トーンパターン画面に「トーンパターン1」～「トーンパターン8」の一覧が表示されますので、設定したいトーンパターンを選択してください。



手順④-2

- 確認ダイアログが表示され、「OK」をタップすると主装置に設定します。
- 「キャンセル」をタップすると、主装置には設定せずに確認ダイアログが消えます。
- 主装置の設定が終了したら  ボタンをタップして終了します。




手順⑤-1

- 着信メロディ画面に「着信メロディ1」～「着信メロディ16」の一覧が表示されますので、設定したい着信メロディを選択してください。

注意：着信メロディは、Android端末の楽曲ファイルを使用しますので、「端末設定」⇒「ユーザ個別設定」⇒「着信メロディ設定」で設定を行ってください。



手順⑤-2

- 確認ダイアログが表示され、「OK」をタップすると主装置に設定します。
- 「キャンセル」をタップすると、主装置には設定せずに確認ダイアログが消えます。
- 主装置の設定が終了したら  ボタンをタップして終了します。

5.2.2.2 外線毎着信拒否

主装置の外線毎着信拒否の設定方法を説明します。




手順①

- システム設定画面で「外線毎着信拒否設定」をタップすると、外線毎着信拒否設定画面が表示されます。



手順②

- 表示された「着信拒否解除」、「内外線着信拒否」、「外線着信拒否」、「内線着信拒否」のうち1つをタップすると、確認ダイアログが表示されます。「OK」をタップすると、主装置に設定します。
- 「キャンセル」をタップすると、主装置には設定せずに確認ダイアログが消えます。
- 主装置の設定が終了したら  ボタンをタップして終了します。

5.2.2.3 ガイダンス設定

主装置のメールボックスへのガイダンス録音、ガイダンス登録、モード対応のガイダンス登録の方法を説明します。



手順①

- システム設定画面で「ガイダンス設定」をタップすると、ガイダンス設定画面が表示されます。



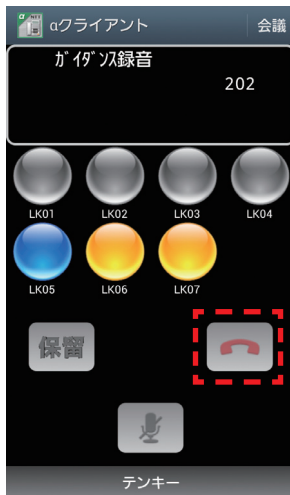
手順②

- 表示された「ボックスのガイダンス録音」、「ボックスのガイダンス登録」、「モード対応のガイダンス登録」のうち1つをタップします。
- 「ボックスのガイダンス録音」を選択した場合は、手順③-1を参照してください。
- 「ボックスのガイダンス登録」を選択した場合は、手順④-1を参照してください。
- 「モード対応のガイダンス登録」を選択した場合は、手順⑤-1を参照してください。




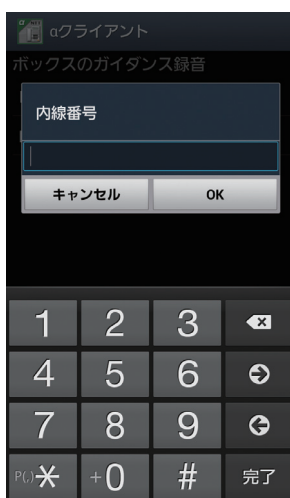
手順③-1

- 表示された「自分のボックス」、「内線番号指定」のうち1つをタップします。
- 「自分のボックス」を選択した場合は、手順③-2を参照してください。
- 「内線番号指定」を選択した場合は、手順③-3を参照してください。



手順③-2

- ガイダンスのメッセージを録音してください。
- メッセージの入力が終わりましたら、 ボタンをタップして終了します。




手順③-3

- 内線番号ダイアログで、ガイダンス録音をしたいボックスを持つ内線番号を入力して「OK」をタップすると、録音状態になります。
- 「キャンセル」をタップすると、主装置には設定せずに内線番号ダイアログが消えます。



手順③-4

- ガイダンスのメッセージを録音してください。
- メッセージの入力が終わりましたら、 ボタンをタップして終了します。



手順④-1

- 表示された「自分のボックス」、「ボックス番号指定」のうち1つをタップします。
- 「自分のボックス」を選択した場合は、手順④-2を参照してください。
- 「内線番号指定」を選択した場合は、手順④-4を参照してください。




手順④-2

- 表示された「ガイダンス00登録」～「ガイダンス99登録」のうち1つをタップします。
- 「ガイダンス00登録」～「ガイダンス99登録」のいずれかを選択すると、確認ダイアログが表示されます。



手順④-3

- 確認ダイアログで、「OK」をタップすると主装置に設定します。
- 「キャンセル」をタップすると、主装置には設定せずにダイアログが消えます。
- 主装置の設定が終了したら  ボタンをタップして終了します。



手順④-4

- 内線番号ダイアログで、ガイダンス登録をしたいボックスを持つ内線番号を入力して「OK」をタップすると、ガイダンス選択画面が表示されます。
- 「キャンセル」をタップすると、主装置には設定せずに内線番号ダイアログが消えます。




手順④-5

- 表示された「ガイダンス00登録」～「ガイダンス99登録」のうち1つをタップします。
- 「ガイダンス00登録」～「ガイダンス99登録」のいずれかを選択すると、確認ダイアログが表示されます。



手順④-6

- 確認ダイアログで、「OK」をタップすると主装置に設定します。
- 「キャンセル」をタップすると、主装置には設定せずにダイアログが消えます。
- 主装置の設定が終了したら  ボタンをタップして終了します。



手順⑤-1

- 表示された「昼モード」、「夜モード」、「休憩モード」、「休日（曜日）」、「休日（特定日）」のうち1つをタップすると、ガイダンス選択画面が表示されます。




手順⑤-2

- 表示された「ガイダンス01登録」～「ガイダンス99登録」のうち1つをタップします。
- 「ガイダンス01登録」～「ガイダンス99登録」のいずれかを選択すると、確認ダイアログが表示されます。



手順⑤-3

- 確認ダイアログで、「OK」をタップすると主装置に設定します。
- 「キャンセル」をタップすると、主装置には設定せずにダイアログが消えます。
- 主装置の設定が終了したら  ボタンをタップして終了します。

5.2.2.4 不在着信転送設定

主装置の不在着信転送（転送解除、個別/放送着信転送、個別着信転送）の設定方法を説明します。



手順①

- システム設定画面で「不在着信転送設定」をタップすると、不在着信転送設定画面が表示されます。




手順②

- 表示された「転送解除」、「個別/放送着信転送」、「個別着信転送」のうち1つをタップします。
- 「転送解除」を選択した場合は、手順③を参照してください。
- 「個別/放送着信転送」または「個別着信転送」を選択した場合は、手順④を参照してください。




手順③

- 確認ダイアログで、「OK」をタップすると主装置に設定します。
- 「キャンセル」をタップすると、主装置には設定せずにダイアログが消えます。
- 主装置の設定が終了したら  ボタンをタップして終了します。



手順④

- 転送ダイヤルダイアログで、転送先のダイヤルを入力し、「OK」をタップすると主装置に設定します。
- 「キャンセル」をタップすると、主装置には設定せずにダイアログが消えます。
- 主装置の設定が終了したら  ボタンをタップして終了します。

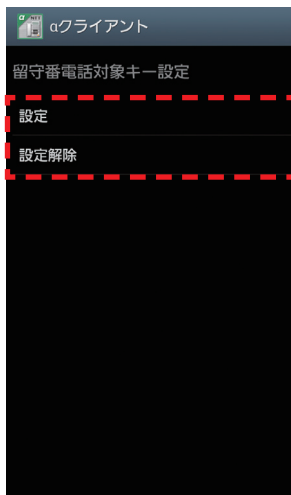
5.2.2.5 留守番電話対象キー設定

主装置の留守番電話対象キーの設定方法を説明します。



手順①

- システム設定画面で「留守番電話対象キー設定」をタップすると、留守番電話対象キー設定画面が表示されます。



手順②

- 表示された「設定」、「設定解除」のうち1つをタップします。
- 「設定」を選択した場合は、手順③-1を参照してください。
- 「設定解除」を選択した場合は、手順④を参照してください。



手順③-1

- 留守番電話対象キー選択画面で、対象とするキーにチェックをし「OK」をタップすると、確認ダイアログが表示されます。
- 「キャンセル」をタップすると、主装置には設定せずに前の画面に戻ります。




手順③-2

- 確認ダイアログで、「OK」をタップすると主装置に設定します。
- 「キャンセル」をタップすると、主装置には設定せずにダイアログが消えます。

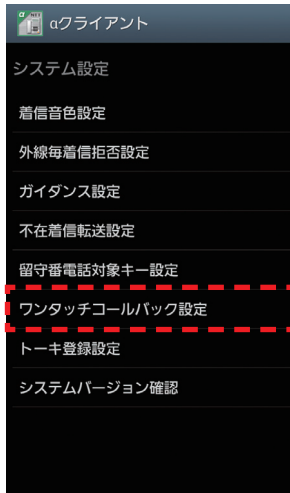


手順④

- 確認ダイアログで、「OK」をタップすると主装置に設定します。
- 「キャンセル」をタップすると、主装置には設定せずにダイアログが消えます。
- 主装置の設定が終了したら  ボタンをタップして終了します。

5.2.2.6 ワンタッチコールバック設定

主装置のワンタッチコールバック関連の設定方法を説明します。



手順①

- システム設定画面で「ワンタッチコールバック設定」をタップすると、ワンタッチコールバック設定画面が表示されます。



手順②

- 表示された「ワンタッチコールバック設定」、「ワンタッチコールバック起動」、「ワンタッチコールバック停止」のうち1つをタップします。
- 「ワンタッチコールバック設定」を選択した場合は、手順③-1を参照してください。
- 「ワンタッチコールバック起動」を選択した場合は、手順④を参照してください。
- 「ワンタッチコールバック停止」を選択した場合は、手順⑤を参照してください。



手順③-1

- ワンタッチコールバック設定画面で、「設定元内線番号」をタップすると、設定元内線番号ダイアログが表示されます。



手順③-2

- 設定元内線番号ダイアログで、設定元内線番号を入力し「OK」をタップすると、ワンタッチコールバック設定画面に戻ります。
- 「キャンセル」をタップすると、設定されずダイアログが消えます。
- 次に「通知先番号」をタップすると通知先番号ダイアログが表示されます。




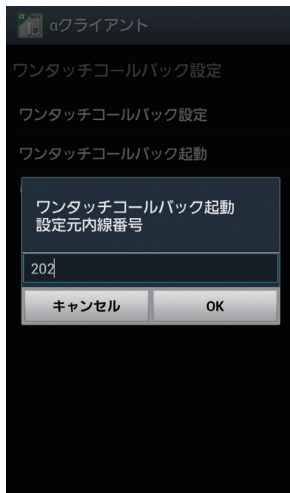
手順③-3

- 通知先番号ダイアログで、通知先番号を入力し「OK」をタップすると、ワンタッチコールバック設定画面に戻ります。
- 「キャンセル」をタップすると、設定されずダイアログが消えます。




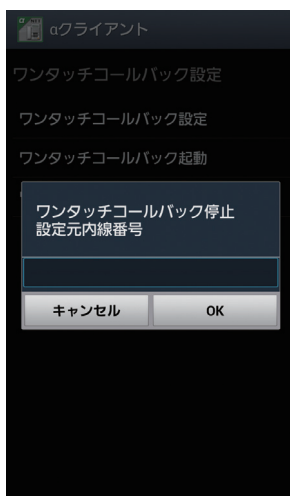
手順③-4

- ワンタッチコールバック設定画面で、「OK」をタップすると、主装置に設定します。
- 「キャンセル」をタップすると、主装置には設定せずに前の画面に戻ります。
- 主装置の設定が終了したら  ボタンをタップして終了します。




手順④

- ワンタッチコールバック起動ダイアログで、設定元内線番号を入力し「OK」タップすると、主装置に設定します。
- 「キャンセル」をタップすると、主装置には設定せずにダイアログが消えます。
- 主装置の設定が終了したら  ボタンをタップして終了します。

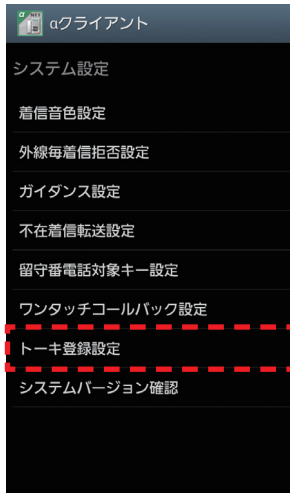


手順⑤

- ワンタッチコールバック停止ダイアログで、設定元内線番号を入力し「OK」タップすると、主装置に設定します。
- 「キャンセル」をタップすると、主装置には設定せずにダイアログが消えます。
- 主装置の設定が終了したら  ボタンをタップして終了します。

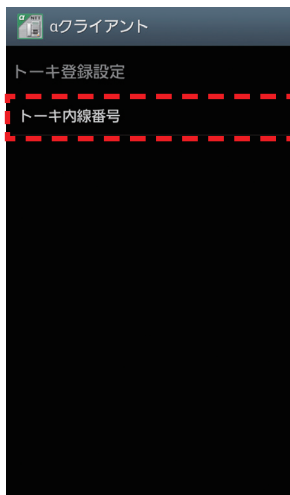
5.2.2.7 トーキ登録設定

主装置のトーキ登録設定方法を説明します。



手順①

- システム設定画面で「トーキ登録設定」をタップすると、トーキ登録設定画面が表示されます。



手順②

- トーキ登録設定画面の「トーキ内線番号」をタップすると、トーキ内線番号ダイアログが表示されます。




手順③

- トーキ内線番号ダイアログで、内線番号を入力し「OK」をタップすると、トーキ番号選択画面が表示されます。
- 「キャンセル」をタップすると、主装置には設定せずにダイアログが消えます。



手順④

- 表示された「トーク01登録」～「トーク99登録」のうち1つをタップします。
- 「トーク01登録」～「トーク99登録」のいずれかを選択すると、確認ダイアログが表示されます。
- 確認ダイアログで「OK」をタップすると、主装置に設定します。
- 「キャンセル」をタップすると、主装置には設定せずにダイアログが消えます。
- 主装置の設定が終了したら  ボタンをタップして終了します。



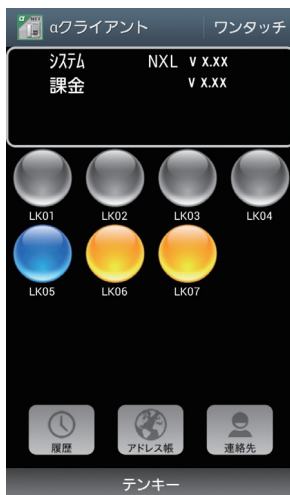
5.2.2.8 システムバージョン確認

主装置のシステムバージョン確認方法を説明します。



手順①

- システム設定画面で「システムバージョン確認」をタップします。
- 待機中画面に遷移し、LCD表示エリアにシステムバージョンが表示されます。



5.2.3 連携モードに切り替える

電話機モードから連携モードへの切り替え方法を説明します。



手順①

- 待機中のスマートフォンのメニューボタンを押下します。
- 「連携モード切替」をタップすると、連携モードの起動ダイアログが表示されます。

※ WEBアドレス帳にログインしている場合、切り替え前にログアウトしてください。



手順②

- 内線番号は、連携先の内線番号を入力します。
- パスワードは、WEBアドレス帳サーバに設定された連携先のパスワードを入力します。
- 内線番号とパスワードを入力後に、「OK」をタップすると連携モードに切り替ります。



5.3 αNXⅡシステム (Type-L/P) 連携モード

5.3.1 発信する

5.3.1.1 着信履歴クイックボタンおよび発信履歴クイックボタンから発信する

着信履歴クイックボタンを利用して連携先のKTから発信する方法を説明します。
発信履歴クイックボタンからの発信方法は、着信履歴クイックボタンと同様のため省略します。



手順①

- 連携モード待機中画面で着信履歴クイックボタンをタップします。
- KT連携設定のプレフィックス選択で、「有効」を選択している場合は、手順②を参照してください。
- KT連携設定のプレフィックス選択で、「無効」を選択している場合は、発信します。発信が完了後、連携モード待機中画面に戻ります。



手順②

- 発信ダイアログで、「184付加」、「186付加」、「国際電話 (101)」、「なし」から選択し、「OK」をタップすると発信します。発信が完了後、発信ダイアログが消えます。
- 「キャンセル」をタップすると発信ダイアログが消えます。

5.3.1.2 お気に入りクイックボタンから発信する

お気に入りクイックボタンを利用して連携先のKTから発信する方法を説明します。



手順①

- 連携モード待機中画面でお気に入りクイックボタンをタップします。
- KT連携設定のプレフィックス選択で、「有効」を選択している場合は、手順②を参照してください。
- KT連携設定のプレフィックス選択で、「無効」を選択している場合は、発信します。発信が完了後、連携モード待機中画面に戻ります。




手順②

- 発信ダイアログで、「184付加」、「186付加」、「国際電話 (101)」、「なし」から選択し、「OK」をタップすると発信します。発信が完了後、発信ダイアログが消えます。
- 「キャンセル」をタップすると発信ダイアログが消えます。

5.3.1.3 Android標準電話帳から発信する



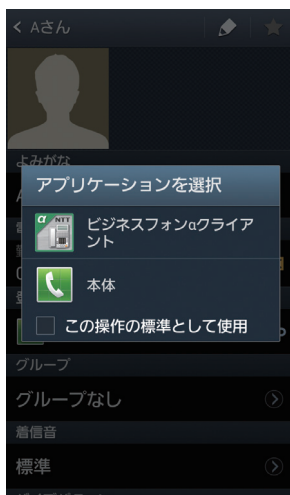
手順①

- 連携モード待機中画面で  ボタンをタップすると、Android端末の標準電話帳を起動します。



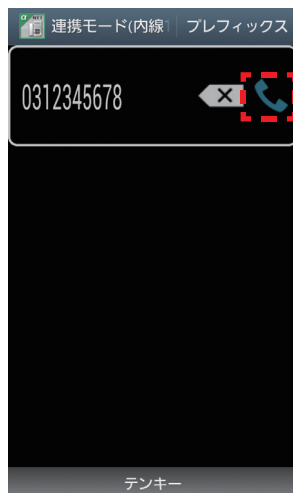
手順②

- 標準電話帳から発信先を選択して、発信操作を行います。
例では、連絡先アプリの画面を使用しています。




手順③

- 発信操作を行うと、アプリケーションを選択するダイアログが表示されます。
- ビジネスフォンαクライアントを選択すると、ダイヤル入力画面に切り替わります。



手順④


- ダイヤル入力画面で  ボタンをタップすると、発信します。発信完了後、携帯モード待機中画面に切り替わります。
- 発信ボタンをタップする前にアクションバーの「プレフィックス」をタップすると、プレフィックスダイアログが表示されます。表示された「184付加」、「186付加」、「国際電話 (010)」、「0発信」のうち1つをタップすると、選択したダイヤルが表示されているダイヤル列の先頭に追加されます。また、「テンキー」を上方向にフリックするとテンキーが表示され、ダイヤルを変更することができます。


5.3.1.4 着信履歴および発信履歴から発信する

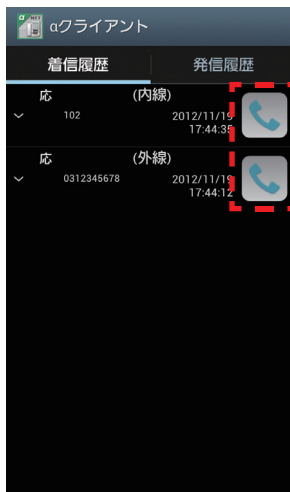
連携モードの着信履歴からの発信方法を説明します。
発信履歴からの発信方法は、着信履歴と同様のため省略します。




手順①

- 連携モード待機中画面で  ボタンをタップすると、着信履歴画面が表示されます。

注意：発着信履歴のセキュリティ設定で「非活性時参照不可」に設定している場合、主装置との通信が切れているときは、 ボタンは表示されません。



手順②


- 着信履歴画面で、 ボタンをタップすると、履歴画面上に表示されているダイヤルで発信を行います。

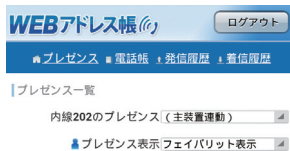
5.3.1.5 WEBアドレス帳から発信する

WEBアドレス帳からの発信方法を説明します。



手順①


- 連携モード待機中画面で  ボタンをタップすると、ブラウザが開きWEBアドレス帳にログインしたページが表示されます。



発信操作については、WEBアドレス帳取扱説明書を参照してください。



WEBアドレス帳からの発信操作後は、連携モード待機中画面が表示されま
ず。

- ※ WEBアドレス帳からの発信がうまくいかない場合、一度WEBアドレス帳
からログアウトして、再度  ボタンをタップしてください。

5.3.2 連携先の端末を変更する

連携先内線端末の変更方法を説明します。



手順①

- 連携モード待機中画面でスマートフォンのメニューボタンを押下します。
- 「連携先内線端末変更」をタップすると、連携モードの起動ダイアログが表示されます。

※ WEBアドレス帳にログインしている場合、切り替え前にログアウトしてください。



手順②

- 内線番号は、新たな連携先の内線番号を入力します。
- パスワードは、WEBアドレス帳サーバに設定された新たな連携先のパスワードを入力します。
- 内線番号とパスワードを入力後に、「OK」をタップすると、新たな連携先に切り替ります。



5.3.3 クイックボタンをカスタマイズする

5.3.3.1 着信履歴クイックボタンおよび発信履歴クイックボタンを登録する

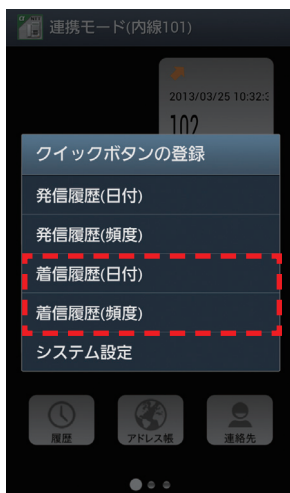
着信履歴クイックボタンの登録方法について説明します。

発信履歴クイックボタンの登録方法は、着信履歴と同様のため省略します。



手順①

- 連携モード待機中画面で空白部分をロングタッチすると、クイックボタンの登録ダイアログが表示されます。



手順②

- クイックボタンの登録ダイアログで、「着信履歴（日付）」、または「着信履歴（頻度）」をタップすると、表示個数の選択ダイアログが表示されます。



手順③

- 表示個数の選択ダイアログで、「1」、「2」、「3」いずれかをタップすると、「着信履歴クイックボタン（日付順）」、または「着信履歴クイックボタン（頻度順）」が連携モード待機中画面に登録されます。

※ 連携モード待機中画面に登録に必要な空き領域がないときは、登録できません。

5.3.3.2 クイックボタンを移動する



手順①

- 連携モード待機中画面でクイックボタンをロングタッチすると、クイックボタンが移動可能になります。



手順②

- クイックボタンをドラッグした状態で任意の位置まで移動させてドロップすると、クイックボタンが移動します。
- 移動中に表示される青い四角は、クイックボタンをドロップできることを表します。

5.3.3.3 クイックボタンを削除する




手順①

- 連携モード待機中画面でクイックボタンをロングタッチすると、クイックボタンが移動可能になります。



手順②

- クイックボタンをドラッグした状態で  アイコンまで移動させてドロップすると、クイックボタンが削除されます。

5.3.3.4 クイックボタンの名称を編集する

クイックボタンの名称の変更方法について説明します。名称が変更できるのは、お気に入りクイックボタンと、システム設定クイックボタンです。




手順①

- 連携モード待機中画面でクイックボタンをロングタッチすると、クイックボタンが移動可能になります。



手順②

- クイックボタンをドラッグした状態で  アイコンまで移動させてドロップすると、名称の変更ダイアログが表示されます。
- 名称の変更ダイアログで名称を変更したあと、「OK」をタップすると名称が変更されます。
- 「キャンセル」をタップすると、ダイアログが消えます。

5.3.3.5 着信履歴クイックボタンおよび発信履歴クイックボタンからお気に入りクイックボタンを登録する

着信履歴クイックボタンからお気に入りクイックボタンの登録方法について説明します。
発信履歴クイックボタンからの登録方法は、着信履歴クイックボタンと同様のため省略します。




手順①

- 連携モード待機中画面で着信履歴クイックボタンをロングタッチすると、クイックボタンが移動可能になります。

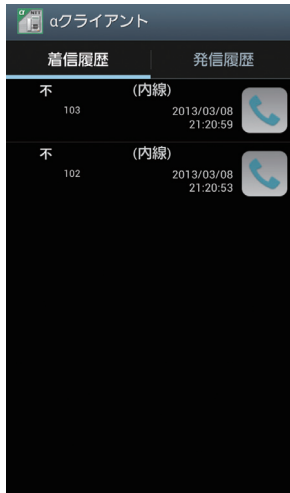


手順②

- 着信履歴クイックボタンをドラックした状態で  アイコンまで移動させて、ドロップすると、お気に入りへの登録ダイアログが表示されます。
- お気に入りへの登録ダイアログに表示された名称をタップすると、お気に入りクイックボタンが連携モード待機中画面に登録されます。

5.3.3.6 着信履歴および発信履歴からお気に入りクイックボタンを登録する

着信履歴からお気に入りクイックボタンの登録方法について説明します。
発信履歴からの登録方法は、着信履歴と同様のため省略します。



手順①

- 着信履歴画面で相手先名称をタップすると、機能選択ダイアログが表示されます。



手順②

- 機能選択ダイアログで「お気に入り登録」をタップすると、お気に入りクイックボタンが連携モード待機中画面の空白部分に登録されます。



5.3.3.7 システム設定をクイックボタンに登録する

システム設定クイックボタンの登録方法について説明します。



手順①

- 連携モード待機中画面でスマートフォンのメニューボタンを押下します。
- 「システム設定」をタップすると、システム設定画面が表示されます。



手順②

- システム設定の方法は、電話機モードと同様のため省略します。



手順③

- システム設定の手順が終わると、クイックボタンの登録ダイアログが表示されます。
- クイックボタンの登録ダイアログで、「登録」を選択すると、システム設定クイックボタンが連携モード待機中画面の空白部分に登録されます。このとき、システム設定は実行されません。
- クイックボタンの登録ダイアログで、「設定を実行」を選択すると、システム設定が実行されます。

5.3.4 電話機モードに切り替える

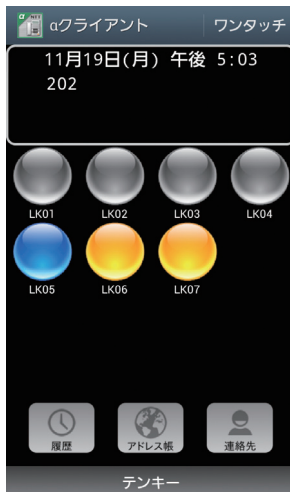
連携モードから電話機モードへの切り替え方法を説明します。



手順①

- 連携モード待機中画面でスマートフォンのメニューボタンを押下します。
- 「電話機モード切替」をタップすると、電話機モードに切り替ります。

※WEBアドレス帳にログインしている場合、切り替え前にログアウトしてください。



5.4 αNXⅡシステム (Type-S/M) 電話機モード

5.4.1 機能メニュー

5.4.1.1 通話モニタ

ビジネスフォンαクライアントの通話モニタ方法について説明します。



手順①

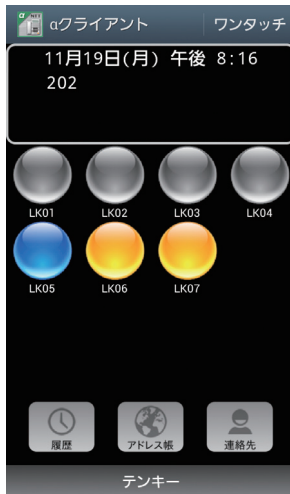
- 外線通話中にスマートフォンのメニューボタンを押下します。
- 「機能」をタップすると、機能画面が表示されます。



手順②

- 「通話モニタ」をタップすると、通話モニタが可能な状態になります
- 通話モニタを解除するには、「テンキー」より「*」を2回タップすると解除されます。

5.4.2 システム設定メニュー



手順①

- 待機中のスマートフォンのメニューボタンを押下します。



手順②

- 「システム設定」をタップすると、システム設定画面が表示されます。



5.4.2.1 着信拒否設定

主装置の外線着信拒否の設定方法を説明します。



手順①

- システム設定画面で「外線着信拒否設定」をタップすると、外線着信拒否設定画面が表示されます。
- グレーの回線キーをタップすると確認ダイアログを表示し、着信拒否設定を行います。
- 赤の回線キーをタップすると確認ダイアログを表示し、着信拒否解除を行います。

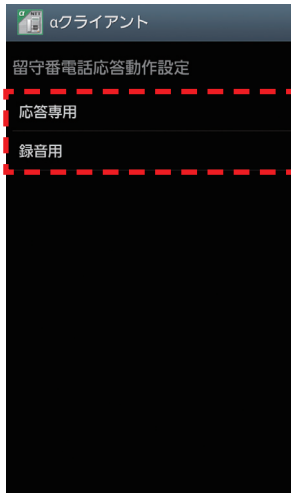


手順②

- 「OK」をタップすると、主装置に設定します。
- 「キャンセル」をタップすると、主装置には設定せずにダイアログが消えます。

5.4.2.2 留守番電話応答動作設定

主装置の留守番電話応答動作設定方法を説明します。



手順①

- システム設定画面で「留守番電話応答動作設定」をタップすると、留守番電話応答動作設定画面が表示されます。
- 「応答専用」、「録音用」から選択すると、確認ダイアログが表示されます。



手順②

- 「OK」をタップすると、主装置に設定します。
- 「キャンセル」をタップすると、主装置には設定せずにダイアログが消えます。

5.4.2.3 個別留守番電話回線設定

主装置の個別留守番電話回線の設定方法を説明します。

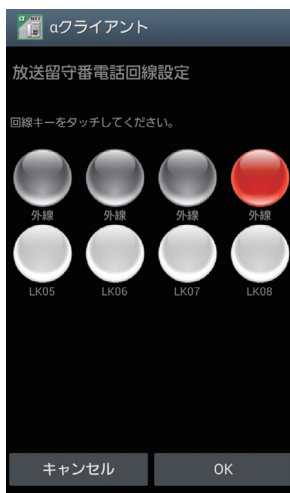


手順①

- システム設定画面で「個別留守番電話回線設定」をタップすると、個別留守番電話回線設定画面が表示されます。
- グレーの回線キーをタップすると、個別留守番電話回線設定を行います。
- 赤の回線キーをタップすると、個別留守番電話回線解除を行います。
- 「OK」をタップすると、主装置に設定します。
- 「キャンセル」をタップすると、主装置には設定せずにダイアログが消えます。

5.4.2.4 放送留守番電話回線設定

主装置の放送留守番電話回線の設定方法を説明します。



手順①

- システム設定画面で「放送留守番電話回線設定」をタップすると、放送留守番電話回線設定画面が表示されます。
- グレーの回線キーをタップすると、放送留守番電話回線設定を行います。
- 赤の回線キーをタップすると、放送留守番電話回線解除を行います。
- 「OK」をタップすると、主装置に設定します。
- 「キャンセル」をタップすると、主装置には設定せずにダイアログが消えます。

5.4.2.5 圏外時サービス設定

主装置の圏外転送サービスの設定方法を説明します。



手順①

- システム設定画面で「圏外転送サービス設定」をタップすると、圏外転送サービス設定画面が表示されます。
- 「設定しない」、「転送電話」、「留守番電話」のいずれかを選択すると、確認ダイアログが表示されます。



手順②

- 「OK」をタップすると、主装置に設定します。
- 「キャンセル」をタップすると、主装置には設定せずにダイアログが消えます。

5.4.2.6 不在着信設定

主装置の不在着信の設定方法を説明します。



手順①

- システム設定画面で「不在着信設定」をタップすると、不在着信設定画面が表示されます。
- 「不在着信転送設定」、「設定解除」のうち1つをタップします。
- 「不在着信転送設定」を選択した場合は、手順②-1を参照してください。
- 「設定解除」を選択した場合は、手順③-1を参照してください。



手順②-1

- 「転送元内線番号」をタップすると、転送元内線番号ダイアログが表示されます。

※ 画面は不在着信転送設定画面で記述します。



手順②-2

- 転送元内線番号ダイアログで、転送元内線番号を入力し「OK」をタップすると、前の画面に戻ります。
- 「キャンセル」をタップすると、設定されずダイアログが消えます。
- 次に「転送先内線番号」をタップすると転送先内線番号ダイアログが表示されます。




手順②-3

- 転送先内線番号ダイアログで、転送先内線番号を入力し「OK」をタップすると、前の画面に戻ります。
- 「キャンセル」をタップすると、設定されずダイアログが消えます。




手順②-4

- 「OK」をタップすると、主装置に設定します。
- 「キャンセル」をタップすると、主装置には設定せずに前の画面に戻ります。
- 主装置の設定が終了したら  ボタンをタップして終了します。



手順③-1

- 転送元内線番号ダイアログで、転送元内線番号を入力し「OK」をタップすると、主装置に設定します。
- 「キャンセル」をタップすると、主装置には設定せずにダイアログが消えます。
- 主装置の設定が終了したら  ボタンをタップして終了します。

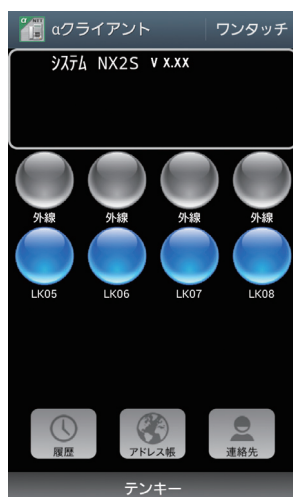
5.4.2.7 システムバージョン確認

主装置のシステムバージョン確認方法を説明します。



手順①

- システム設定画面で「システムバージョン確認」をタップします。
- 待機中画面に遷移しLCD表示エリアにシステムバージョンが表示されます。



(2013.4)

ビジネスフォンαクライアント取扱説明書